



子ども達への水辺の安全教育プログラムの推進

【2025年度事業目的】

夏季に集中する水難事故の現状（年齢、場所、環境、時間帯の特徴）からも、事故防止における社会課題は教育課題に直結する。「水辺の事故ゼロ」を目指す上で、子ども達が積極的に海と関わりを持ち、親和性を高め、自他の生命や環境への敬意と感謝、安全への「そなえ行動」がとれる教育環境を実現したい。そのためには指導者養成と子ども達へのカリキュラム構築、教育コンテンツや教材開発、さらにその実践研究と広報は必要不可欠である。30都道府県ライフセービング協会、全国149クラブによる指導体制の構築を図り、学校や地域教育への展開を増やしていくことで、水辺に親しみ、互いに支え合い、誰もがライフセーバーである（安全の自律）水辺の文化を創っていききたい。

1



【2025年度事業目標】

1. 地域におけるジュニアライフセービング教育(以下Jr.LS)の充実

年間を通じた海辺活動を推進するため都道府県協会やクラブに公募し、全国10か所にJr.LSに関わる器材を提供する(スタート支援型と通年実施型)。採択団体に対し、事前事後のヒアリング調査、委員による視察と協同指導を通して、器材活用の実態や課題を共有し参加者アンケートを交えた成果測定を行う。冬季には「宿泊型体験プログラム」を実施し、加盟クラブへの派生をねらいとした指導員のキャリアアップの場として活用していく。来年度はJr.LSの実態を調査し、中長期での成果測定をおこない、根拠をもって次なる目標を設定する。

2. e-Lifesavingの改修と展開、広報啓発の強化

過去4年間の平均ユーザー数は約58,000人である。主に水辺の安全を学校で学ぶICT教材として、文部科学省やスポーツ庁、海上保安庁、消費者庁、子ども家庭庁をはじめとし、多くの関連団体からの信頼と実績を重ねてきた。2025年度は教材活用のターゲット層を地域、家庭、さらには低年齢層(低学年、未就学児)とし、動画視聴の仕組み、制作を進め、e-Lifesavingのユーザーを増やしていく。SNSマーケティングの専門家とも連携し、保護者層へのアプローチを展開し、65,000人のユーザー数を成果目標とし、事故防止への啓発・教育活動の拡充を図る。

3. 指導員養成講習及びサポーター講習

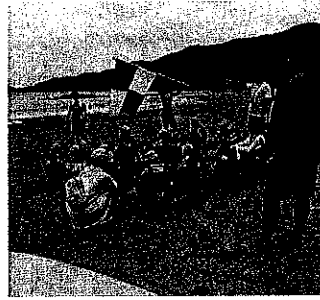
全国30か所を候補として指導員養成講習会を展開し、90名の指導員を誕生させる。サポーター講習では、学校教育、教員研修、保護者や親子を中心とし、年間18,000人の受講者数を目標とする。

2

1.地域におけるジュニアライフセービング(Jr.LS)教育の充実

ジュニア教室及び器材支援事業

各団体実施の様子



1.地域におけるジュニアライフセービング(Jr.LS)教育の充実

メディア

ジュニア教室及び器材支援事業

高知県高知市 広報くろしお2月号 に掲載



漂流した場合の対処方法を学ぶ児童ら

南郷小学校で水難事故防止・防災学習

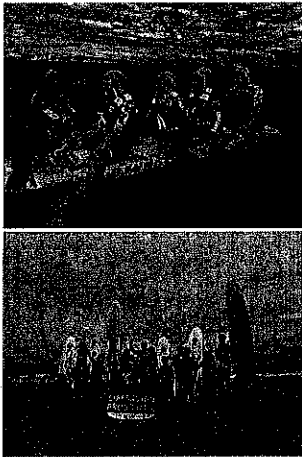
昨年12月11日(木)、南郷小学校で水泳学習や日常生活における水の安全についての理解を深めることを目的に、水難事故防止・防災学習が実施されました。同学習では、水の事故について動画を見ながら学んだ後、ライフジャケットの正しい着用方法や、事故に遭った際の対処方法について学びました。

児童らは、「離岸流について知ることができた」、「もし流されたとしても焦らず対応したい」と話し、講演を行った、(公財)日本ライフセービング協会の松本貴行副理事長は、「ただ恐れるのではなく、対処方法を知ることや未然の防止が大切」と話しました。

1.地域におけるジュニアライフセービング(Jr.LS)教育の充実 ジュニア教室及び器材支援事業

オンライン 事後ヒアリング

(1回目：1/13(火)
2回目：1/15(木)実施)



<募集時期・方法>

- ・募集時期が繁忙期のうえ、事前に提出する書類が多い
→次年度は検討し、遅くともゴールデンウィーク前には告知をする。
- ・募集の際の手続きを簡単にし、受給者の負担を少なくする。

<支援器材>

- ・支援器材の物やサイズを受給者が選択できない。
→次年度、「ジュニアライフセービング器材支援事業」を立ち上げ、活動しているクラブを対象に、受給者2割負担で器材を購入できる事業を実施する。

<視察>

- ・視察には委員会メンバーが伺い、受給クラブでの事業の成果、課題を把握する。
→次年度は、視察員が直接的な指導を行い、JLAのめざす「WaterSafety教育」を受給クラブへ伝達する機会とする。



1-b ライフセーバーと海で遊ぼう！ 冬休み in 岩井

1 企画名 『ライフセーバーと海で遊ぼう！』

2 日時 2025年12月26日～28日 ※宿泊場所 民宿 甚五郎

3 場所 千葉県南房総市 岩井海岸

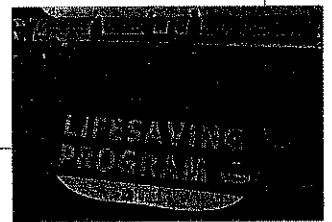
4 参加者 小学校3～6年生 22名 高校生6名・大学生2名

- 5 目的
- ・一年を通しての海での活動の実践
 - ・海でのアクティビティの体験活動
 - ・心肺蘇生法やウォーターセーフティの体験を通したライフセービング活動の普及
 - ・リーダー資格の活用と人材育成



1-b ライフセーバーと海で遊ぼう！～スケジュール～

<p>1日目</p> <p>9:00 東京駅集合 バスで移動 宿泊先に到着後開校式</p> <p>11:30 昼食</p> <p>13:00 海でライフセーバーと遊ぼう！ ニッパーボードでの波乗り体験</p> <p>18:00 夕食</p> <p>19:00 心肺蘇生体験 翌日のオリエンテーション</p> <p>22:00 消灯・就寝</p> <p>2日目</p> <p>7:00 朝食</p> <p>9:00 海でライフセーバーと遊ぼう！ サップ体験&ニッパーボードでの波乗り ビーチアクティビティや貝拾い・貝磨き</p> <p>12:00 昼食</p>	<p>13:00 海でライフセーバーと遊ぼう！ サップ体験&ニッパーボードでの波乗り ビーチアクティビティや貝拾い・貝磨き</p> <p>18:00 夕食</p> <p>19:00 レク&翌日のオリエンテーション</p> <p>22:00 消灯・就寝</p> <p>3日目</p> <p>7:00 朝食・片付け</p> <p>9:00 海でライフセーバーと遊ぼう！ ビーチアクティビティ</p> <p>13:00 昼食</p> <p>14:00 閉校式 修了証授与</p> <p>14:30 宿泊先出発</p> <p>16:30 東京駅到着・解散</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



11

1-b ライフセーバーと海で遊ぼう！～事前ガイダンス～

日時 2025年12月13日（土）

場所 成城学園内プール

指導 島田インストラクター&リーダー資格を持ったライフセーバー

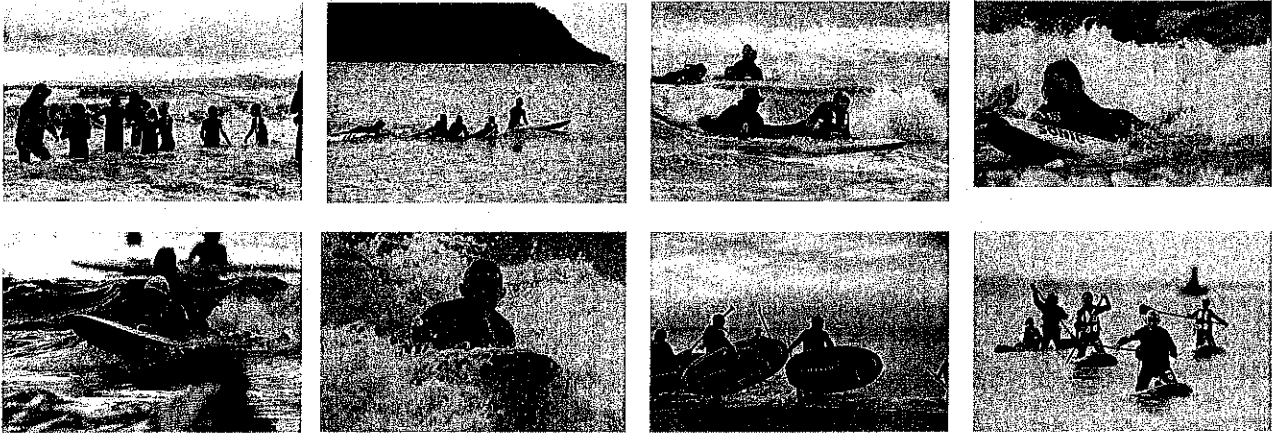
内容 ・ライフジャケットの正しい着方、落水体験、イカ泳ぎ（ライフセービングバックストローク）等

子どもたちには事前に成城学園プールでライフジャケットの着用やイカ泳ぎ（ライフセービングバックストローク）などの練習をした。

今回の企画で参加したライフセーバーは大学生や高校生でリーダー資格を所有しているメンバーが参加した。

12

1-b ライフセーバーと海で遊ぼう！ ～海での活動の様子～



初日から気温が低く、波が高いコンディションだったため、環境を活かしニッパーボードを使用しサーフィンをおこなった。活動量が多いので短い時間となったが、波に乗るといふ貴重な体験をすることができた。気温の低さも気になったが、子どもたちが海での活動を楽しむ様子を見ることができた。

13

1-b ライフセーバーと海で遊ぼう！ ～ビーチアクティビティの様子～



今回は3日間通して寒波の影響で気温は低かったため、最終日は入水せずにビーチアクティビティのみ行った。ビーチでもリーダーたちと海の活動を楽しんでいる姿が見られた。

14

1-b ライフセーバーと海で遊ぼう！ ～いのちに向き合う授業の様子～



夜は心肺蘇生法体験やレクリエーション活動を行った。心肺蘇生法体験では、各グループに大学生や高校生がひとりずつサポートにつく形で実施した。身近な人が倒れていた時に自分たちに何ができるかを考える時間となった。

15

1-b ライフセーバーと海で遊ぼう！ ～事後アンケートの結果と総括～

○保護者アンケートより

- ・今回対象学年が広がり行けました。またこれからも行きたいと言っているの、よろしくお願ひします！ありがとうございました。
- ・小学3年生（男）で参加させていただきました。高校生をはじめ、学生のスタッフがとても優しく楽しかったようです。ありがとうございました。現地でお菓子をたらぶく買ってご飯をあまり食べなかったとの事で…少し制限できたら良かったかな。と思います。
- ・四年生の去年で最後の参加と思っていましたが、5-6年まで枠が広がり、本人に確認したところ即答で、行く！の返事。毎回海のアクティビティだけでなく、心肺蘇生法や、夜の遊び、高校生や他の学校の子たちとの関わりが本当に楽しいようで、毎回大喜びで帰ってきます。また機会がありましたらぜひよろしくお願ひします！！
- ・春にも是非よろしくお願ひします。
- ・とても楽しめて充実できたようです。ありがとうございました。
- ・私が勝手な想像していたより、とても楽しく、都会の子供達にいい刺激をもらったようでした。子供の力は、すごいと思いました。
- ・初めての経験がたくさんでき、また他校の子とも触れ合えて楽しかったようです。本当にありがとうございました。また是非行ってほしいです。
- ・救急対応の真似事もしており、私ども親も学校で学んでいたため、自然と一緒にごっこ遊びをしながら再確認もできました。
- ・本人はすごく楽しかったからまた来年も絶対いく！！とのこと。忘れられない実りある思い出をありがとうございました。また来年もよろしくお願ひします。

16

1-b ライフセーバーと海で遊ぼう！ ～事後アンケートの結果と総括～

○リーダー感想より（要約）

（大学生リーダー）

昨年に続き2年連続で参加。寒さの厳しい中でも、子どもたちが一番楽しめるよう柔軟に関わることを意識した。佐藤さんや島田先生をはじめとする大人陣の臨機応変な対応に支えられ、スタッフも子どもたちも笑顔で終わられたと実感。最終日に子どもたちから「海に入りたい」と言われたことが印象的で、楽しさを届けられた手応えを感じた。今後は参加した子どもたちが継続してライフセービングに関われるような関わりを大切に、活動の発展にも携わってきたいと感じた。



（大学生リーダー）

スタッフとして2回目の参加。大学での活動経験を経て再び関わることで、前回とは違った学びを得られた。寒い中でも真剣に取り組み、貝磨きやBLS体験に積極的な子どもたちの姿に元気をもらった。短期間でも大きく成長する子どもたちに驚かされると同時に、自身も新しい出会いの中で充実した時間を過ごせたと感じている。



（大学生リーダー）

事前学習を含め子どもたちとコミュニケーションを多くとる機会があり、信頼関係を築いた上で指導にあたることができたと感じる。寒いコンディションの中、子どもたちの体調ややりたいことに合わせたプログラム展開ができたのは器材とベテラン勢のおかげであった。海以外のプログラムでも交流の機会が設けられていて良かったが、自由時間が多めだったので、何か全体でのプログラムを増やしても良いと感じた。

1-b ライフセーバーと海で遊ぼう！ ～事後アンケートの結果と総括～

○リーダー感想より（要約）

（高校生リーダー）

高校1年時から参加を楽しみにしていた合宿にリーダーとして参加。小学生との関わり方の難しさや価値観の違いを実感しながらも、多くの学びを得た。体調不良で一部活動に参加できなかったが、再会した時の子どもたちの反応に支えられた。時に大変な場面もあったが、自身の成長を感じる濃い3日間となり、今後も機会があれば参加したいと考えている。

（高校生リーダー）

初めてライフセーバー役として参加し、小学生への指導を経験。心肺蘇生法の指導を通して、教える側としての責任や伝え方の重要性を実感した。SUPやレクリエーションでは楽しみながら学ぶ時間を共有でき、子どもたちからの感謝の言葉に自身の成長を強く感じた。貴重な機会への感謝とともに、今後につながる経験となった。

（高校生リーダー）

小学生との関わりや冬の海の厳しさに戸惑いながらも、次第に打ち解け、楽しく2泊3日を終えることができた。波への恐怖や寒さで海での活動は短時間となったが、室内でのCPRなどでは子どもたちが真剣に取り組む姿が印象的だった。多くの経験を積むことができた冬企画となり、感謝の気持ちを抱いている。

（高校生リーダー）

ライフセーバーとして参加し、冬の海という環境の違いに不安を感じつつも、「一緒に楽しむ」ことを大切に関わった。慣れない子には寄り添い、活動を通して表情が明るくなる様子に喜びを感じた。安全講習での鋭い質問などから子どもたちの感性にも学ばされ、自身にとっても貴重な経験となった。

（高校生リーダー）

普段あまり関わらない年代の子どもたちへの対応に最初は不安を感じたが、次第に打ち解け、充実した3日間を過ごした。寒さの中でも元気に海を楽しむ子どもたちに励まされ、貝磨きやゲームなど新しい関わり方も学べた。仲間や先輩に支えられながら、自身も海の活動を楽しみ、多くの学びを得た。

1-b ライフセーバーと海で遊ぼう！ ～事後アンケートの結果と総括～

○「ライフセーバーと遊ぼう」総括

はじめに、今回の企画は1年を通じて海に足を運ぶ機会をつくることを目的に繁忙期の夏ではなく、12月の冬に千葉県南房総市若井海岸にて実施した。参加条件に事前ガイダンスの「Water safety」プログラムへの参加を必須としたことにより、水辺の活動におけるライフジャケット着用の重要性を学んだ児童が今回の企画に参加した。加えて、事前プログラムは保護者引率のもとで参加しているため、「Water safety」プログラムを実施している子供たちの様子を保護者も見学して「Water safety」の理解を深めている。

内容はニッパーボード・スタンドアップパドル・ビーチアクティビティの3つの体験する企画となった。また、夜の時間には心肺蘇生の重要性を知る体験をして人命救助の大切さを知ったことでこの企画の質を高めたと感じている。そして、スタッフの構成は、指導サポートにジュニア指導者資格「リーダー」を取得した高校生ライフセーバーと将来ジュニアライフセービングの指導員を目指す大学生が研修生として指導及び企画運営に携わった。また、サーフのインストラクターが各アクティビティの責任者として企画運営をしている。これにより、この企画はライフセーバーが支える企画となり、参加児童がライフセーバーたちと共に過ごす特別な企画になったと感じている。また、将来の日本のライフセービングを支える人材育成として、リーダー資格を取得した高校生ライフセーバーと大学生の研修生を指導スタッフに加えたことがこの企画の大切な考え方の1つであった。高校生や大学生の年代から伝える立場、支える立場を経験することで取得した資格の有効性や自分の存在意義を感じて、将来の日本社会を支えるライフセーバーに成長することに繋がれば幸いである。

最後に、今回の企画に参加した児童や指導サポートスタッフとして参加した高校生や大学生たちが年間を通じて海に足を運び自然と触れ合う生活を送り、自然環境を守る重要性を理解するはじめての一歩になることを強く願っている。

学校教育推進委員会
企画担当責任者 島田翼史



1-c Jr.教育実施調査の回答状況 ～概要・実施団体と未実施団体～

実施担当：JLA教育本部 地域教育推進委員会

調査方法：JLAより以下の方法で回答用のgoogleフォームを配布

(ライフセーバーズメール、ホームページへの掲載、メールによる代表者への直接連絡)

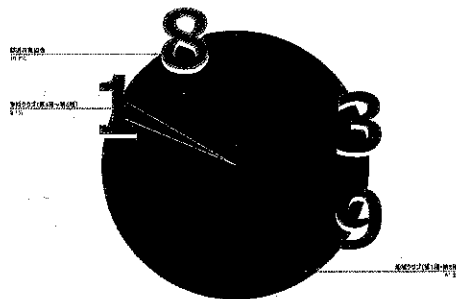
調査手順：プレ調査を実施しHPの改訂と担当者を把握、対象団体に過去1年以内に実施した団体へのアンケート(A)と、未実施団体へのアンケート(B)を別に配布

Jr LSプログラム実施判断の期間：
2024/9/1~2025/8/31

回答数：アンケートA 48団体、アンケートB 29団体 合計77団体 (ジュニアプログラム実施割合 約60%)

※回答依頼団体数は185団体 (地域クラブ 124クラブ、学校クラブ50クラブ、都道府県協会12団体) (実施割合 25.9%)

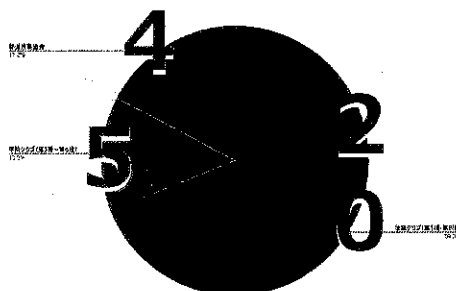
対象期間1年間にジュニアプログラムを実施した団体とその分布



- 地域クラブ (第1、2種) 39回答
- 学校クラブ (第3~6種) 1回答
- 都道府県協会 8回答

- 地域クラブが主体となる活動がメイン
- 都道府県協会 8団体
 - 地域クラブとのすみわけはどうなっているか?
- 学校クラブ 1団体
 - 1団体ながらも活動例がある大学・高校におけるジュニア活動のヒントはないか?

対象期間1年間にジュニアプログラムを実施しなかった団体とその分布

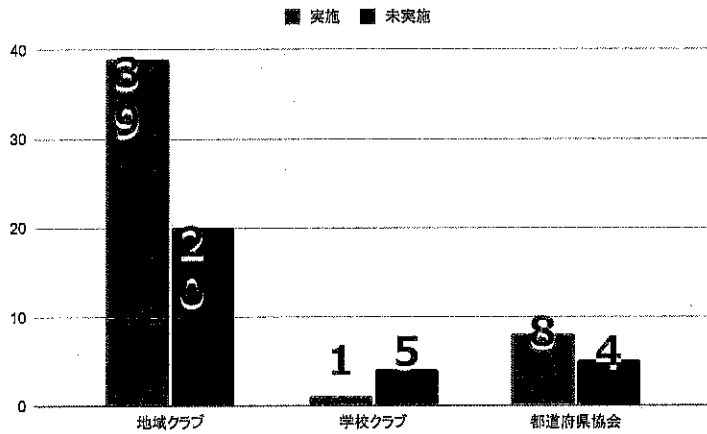


- 地域クラブ 20回答
- 学校クラブ 5回答
- 都道府県協会 4回答

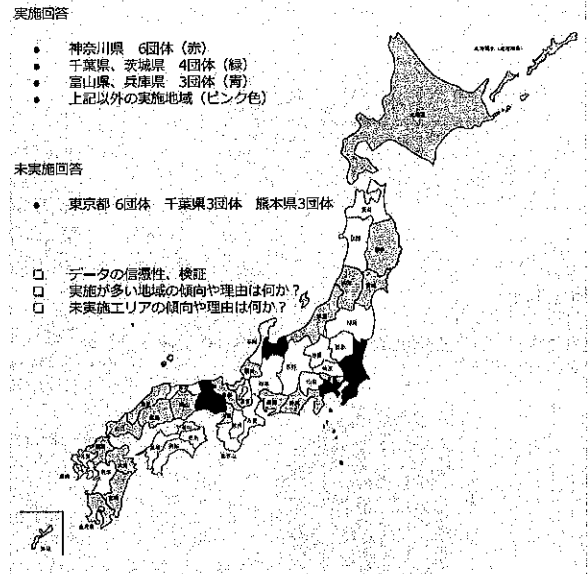
- 地域クラブの中にも未実施団体は多い
- 学校クラブの未実施率が高い
- 未実施に関するアンケートは、回答障壁が高い

1-c Jr.教育実施調査の回答状況 ～種別ごと集計と全国分布～

種別ごとの ジュニアプログラム実施団体数



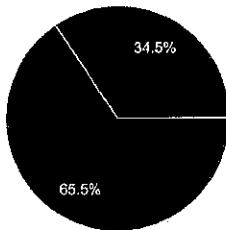
プログラム実施団体分布



1-c Jr.教育実施調査の回答状況 ～未実施団体への質問・開催頻度～

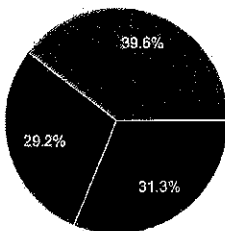
5. ジュニアライフセービングの指導を今後実施したいと思いますか。

29 件の回答



未実施団体への質問

- 「はい」と回答した団体の実施障壁を検証
 - 実施したいと考えている団体が実施しやすくなる事業設計。制度設計による後押しを考える。
- 「いいえ」と回答した団体の状況をヒアリング
 - 教育を実施したいと感じない理由は何か?
 - それ以外の課題があるのか、優先度が違うのか?



開催頻度

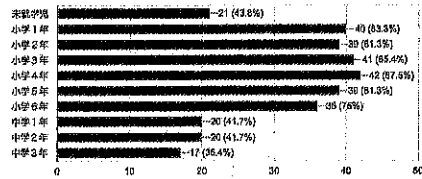
- 開催団体の指導者や他団体とのコラボなど団体自体の性質との関連性
- 学齢や学校? 地域? などターゲットの違い
- 地域特性。開催地の地域文化の違い
- 回答団体の性質や実施内容とのクロス集計が必要
- 状況によっては回答者へのヒアリング等が必要

5. ジュニアライフセービングの開催「頻度」を教えてください。
 (注1) 年間通じて実施している団体は、「年間通じて実施」を選択して以下、ご回答ください。
 (注2) 夏季シーズン*とは、Water Safety キャンペーン期間中とします。*2025年度の場合、6月15日(日)～8月31日(日)

1-c Jr.教育実施調査の回答状況 ～対象学年・協力団体・参加費～

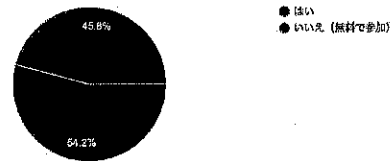
対象学年

6.参加された対象学年のすべてにチェックを入れてください。
48件の回答



参加費の有無

8.参加費をもらっていますか。参加費が「無料」の場合は、「いいえ」を選択してください。
48件の回答

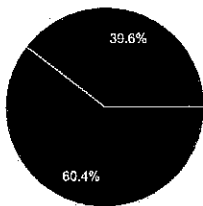


- 小学校中学年の参加者の多さ
- 中学生の少なさ
- 未就学児の参加
- 中学生への継続動線が課題？
- 未就学児受け入れについては実例を整理→先行事例の集積
- 参加学年が全国的に一般的な傾向なのか、回答者や特定地域の状況なのかは今後の分析が必要

- 有料：継続性・運営の安定化
 - もう少し詳細なヒアリングが必要
- 無料：参加のしやすさ
 - 実態（やむを得ないのか？他の財源や協力団体があるのか？）各事例ごとの追跡ヒアリングが必要

協力団体

7.実施にあたって協力団体や依頼された団体はありますか。
48件の回答



- 学校教育機関/PTA 19
- 自治体/観光協会/市スポーツ協会 7
- 企業/スイミングクラブ 9
- はい
- いいえ (賛同団体の単独開催)
- 協力団体との連携によりプログラムが実施しやすくなる？ 29団体が連携
- 学校関係>企業>自治体関係
- 近隣LSとの連携も課題
- 様々な連携モデルが中心になるか？
- 連携団体ごとのプログラムや地域の傾向
- 単独開催しているクラブの性質は？

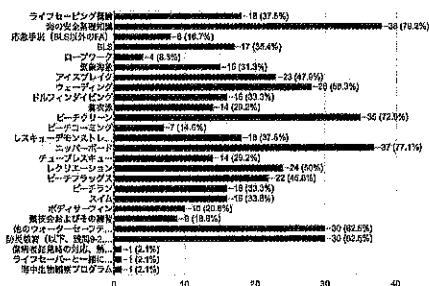
- 参加障壁×事業継続性×参加継続性
- 事例ごとのクロス集計などで細かな性質の違いを分析する必要がある

1-c Jr.教育実施調査の回答状況 ～プログラムについて～

- 実施上位プログラム（ニーズが高いプログラム）に必要な支援等の整理
 - 海の安全基礎知識、ビーチクリーン、ニッパーボード
- 実施率が低いが必要な性の高いプログラムの実施課題整理
- これから新規でプログラムを立ち上げる際のプログラムの参考に

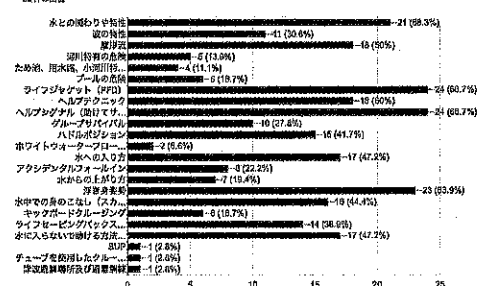
実施プログラム

9.実施したプログラムをすべてを選択してください。
48件の回答



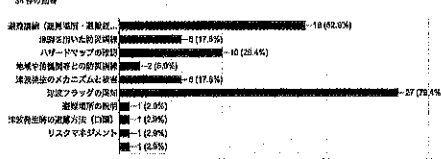
他のウォーターセーフティプログラムを選択した回答者の回答

9-1.上記 (1つ上の質問) で「他のウォーターセーフティ」に該当するプログラムを全て選択してください。
36件の回答



防災教育を選択した回答者の回答

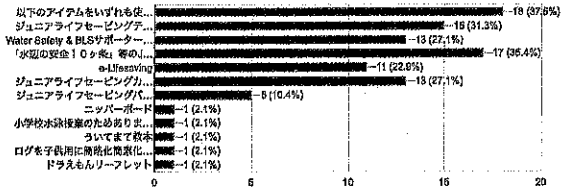
9-2.上記 (2つ上の質問) で「防災教育」を選択した回答者が実施したプログラムを全て選択してください。
34件の回答



1-c Jr.教育実施調査の回答状況 ～使用教材、不足を感じるもの～

- ・ 指導者がいなければスタートができないが
- ・ スタートしたのちは「人 < 物 < 財源」確保が課題

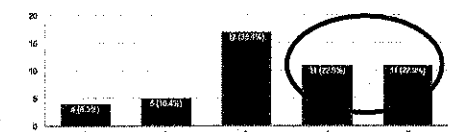
11. プログラムにおいて何か学習教材等を併用していますか。(複数選択可)
48件の回答



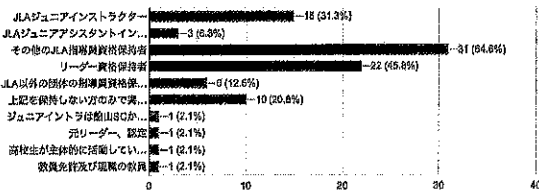
13-1. 指導において、指導者(ヒト)は足りていますか。
48件の回答



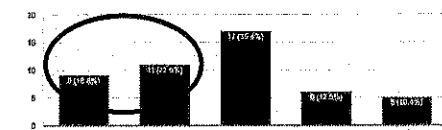
13-2. 指導において器材(モノ)は足りていますか。
48件の回答



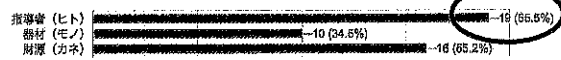
12. メインで指導に携わる方の所有資格について教えてください。(複数選択可)
48件の回答



13-3. 指導において、財源(カネ)は足りていますか。
48件の回答

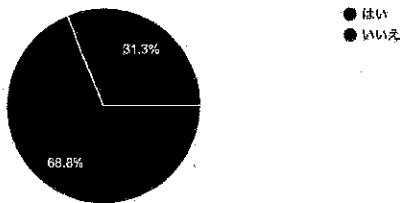


ジュニアライフセービングの指導を現在、実施し...理由をお聞かせいただけますか。(複数選択可)
25件の回答

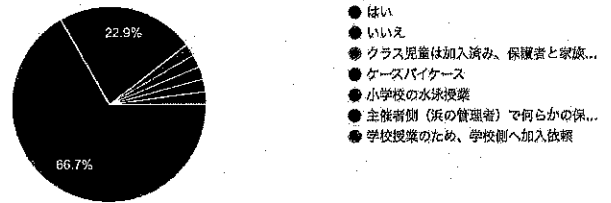


1-c Jr.教育実施調査の回答状況 ～保護者の参加・保険～

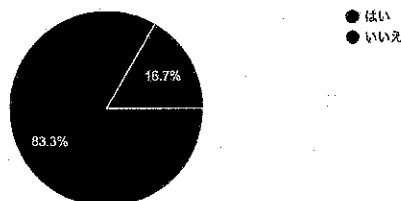
14. 参加児童・生徒の保護者のプログラムへの参加はありますか
48件の回答

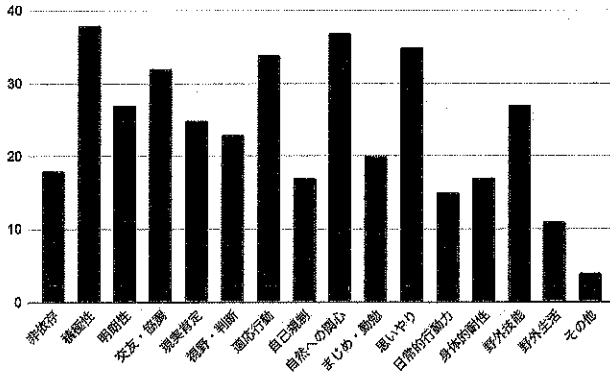


15. 活動する参加者に対して保険の加入はしていますか。
48件の回答



16. 指導するスタッフに対して保険の加入はしていますか。
48件の回答





- ・ 生きる力尺度の結果、各プログラムの平均点は7.9±4.8点であった。
- ・ グラフには、各プログラムの合計結果を示した。積極性・自然への関心・適応行動・思いやりを意識したプログラムが設定されていた。

2. e-Lifesavingの改修と展開、広報啓発の強化 ※事業内容2に関連

New!

- Webサイトの各種データ最新化、英語翻訳ページ増設
- 直感的で視覚的に訴求力のある動画コンテンツ制作

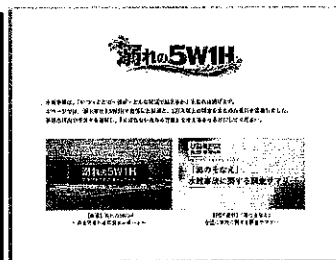


- 命を守るための溺水レポート
- 事前学習「湖編」
- 幼児・低学年向け

今年度のe-Lifesavingの新規コンテンツとして、水難事故の実態を「いつ・どこで・誰が・どのような状況で起きているのか」という視点から整理した「命を守るための溺水レポート」、水辺がプール・海・川だけではないことに着目した事前学習「湖編」、そして、水辺の実態調査から溺れの経験が多い未就学児や小学校低学年を対象とした「幼児・低学年向けコンテンツ」の3つを制作した。

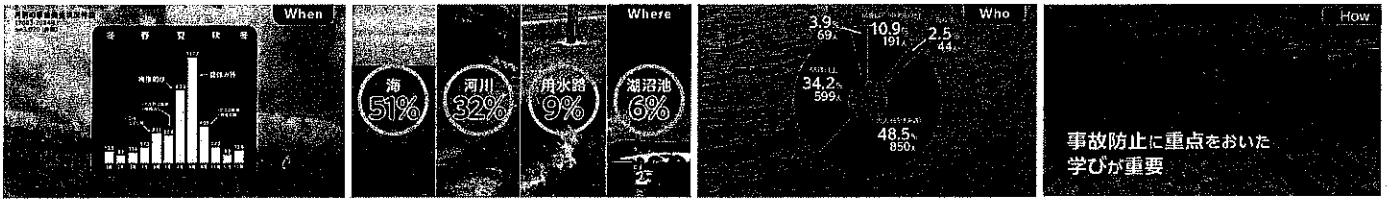
その他、以前からのコンテンツを最新の情報、データ、画像等に更新をするなど、事故の実態、水域ごとのリスク、そして学び始める年齢に着目し、水辺の安全教育をより幅広い世代へ届けることを目的として、リニューアルを実施した。

- ・事前学習「海編」
- ・みんなで考えよう！「海のできごと」「離岸流ってなに？」
- ・動画で学ぼう！「実験動画」
- ・クイズ！水辺の安全って？「ウォーターセーフティ編」
- ・資料集 関連資料、関連動画

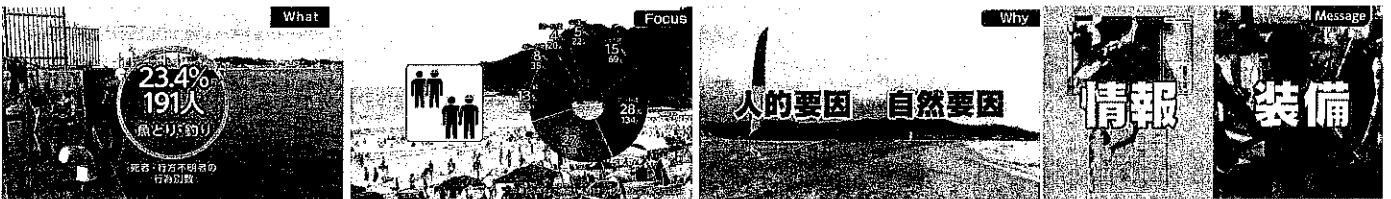


New! 「命を守るための溺水レポート」

- a. Webサイトの各種データ最新化、英語翻訳ページ増設
- b. 直感的で視覚的に訴求力のある動画コンテンツ制作



「命を守るための溺水レポート」では、水難事故が「いつ・どこで・誰が・なぜ・どのように起きているのか。」溺れの実態を5W1Hの視点から整理し、水辺に潜むリスクを客観的に理解できる内容としている。発生が多い時期や場所、年齢層の特徴、事故につながる行動や環境要因などを具体的なデータとともに解説。さらに、ライフジャケットの着用や事前の情報収集といった事故を防ぐための行動にも触れている。水辺で安全に過ごすために必要な“知る力”を育て、実際の行動変容につなげることを目的とした学習動画である。



New! 事前学習「湖編」

- a. Webサイトの各種データ最新化、英語翻訳ページ増設
- b. 直感的で視覚的に訴求力のある動画コンテンツ制作

日本には多くの湖があり、キャンプや水遊び、アウトドア活動などで湖に親しむ機会も少なくない。こうした背景を踏まえ、これまで公開してきた「プール編」「海編」「川編」に加え、新たに「湖編」を制作した。湖でのリスク、起こりやすい事故の特徴や、安全に楽しむために知っておきたいポイントを分かりやすく学ぶことができる。

事前学習

- プール編 Pool Edition
- 海編 Beach Edition
- 川編 River Edition
- 湖編 Lake Edition

湖編

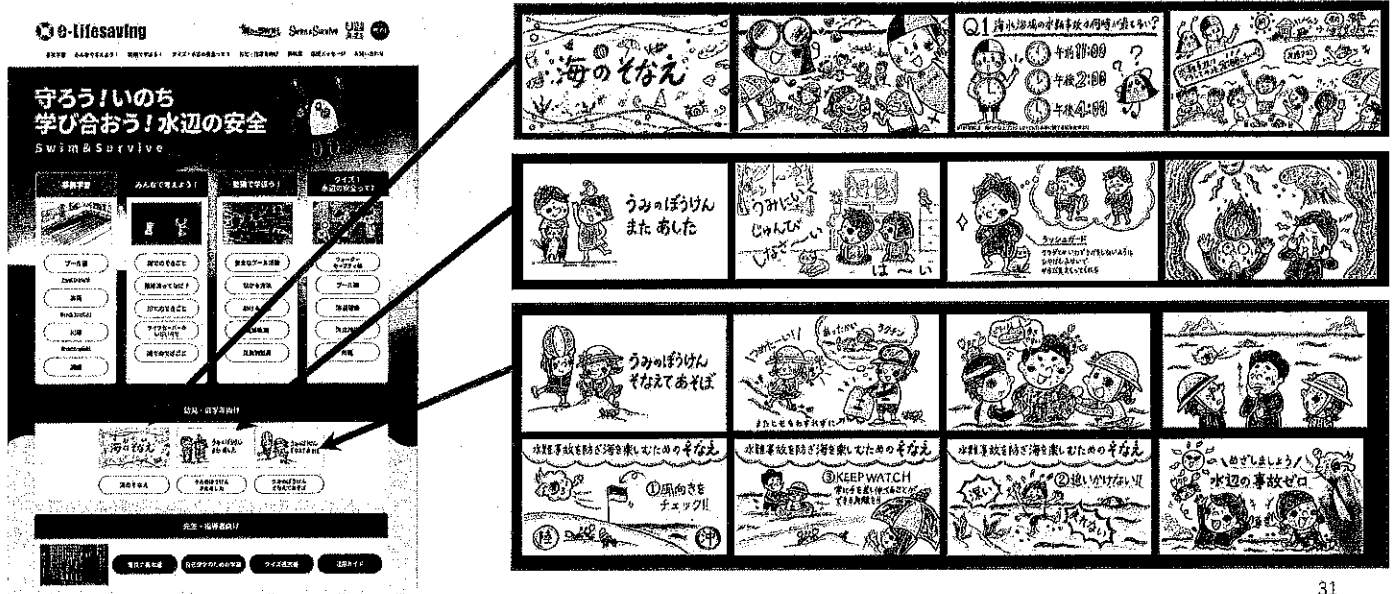
湖では山からのふぶきおろしの風が吹くことがあります。おだやかな水面上に立ち立ち、波が真に揺られてしまう場合もあります。波が真につかまっても、バランスをくずしてしまうおそれもあります。特に風の強さや向きには常に注意深く観察をしておきましょう。

湖ではボートやSUP（サップ）、カヤックなどが行きます。暑いため、浸透性のある服装の着用がおすすめです。ボートなどの利用者は、進行方向に人がいないかなどを常に確認しながらゆっくりとパドルしましょう。※湖では、多くの人が安全に楽しむために、ゆずり合いと思いやりの姿勢が大切です。

New!
幼児・低学年向けコンテンツ

- a. Webサイトの各種データ最新化、英語翻訳ページ増設
- b. 直感的で視覚的に訴求力のある動画コンテンツ制作

昨年度より、水辺の実態調査から溺れの経験が多い未就学児や小学校低学年を対象とした「幼児・低学年向け動画」の制作を開始し、今年度は2本の動画を制作。計3本の動画が完成した。そして、新たに「幼児・低学年向け」というコンテンツを作成。トップ画面から3本の動画を見れるように設定をした。



事前学習「海編」リニューアル

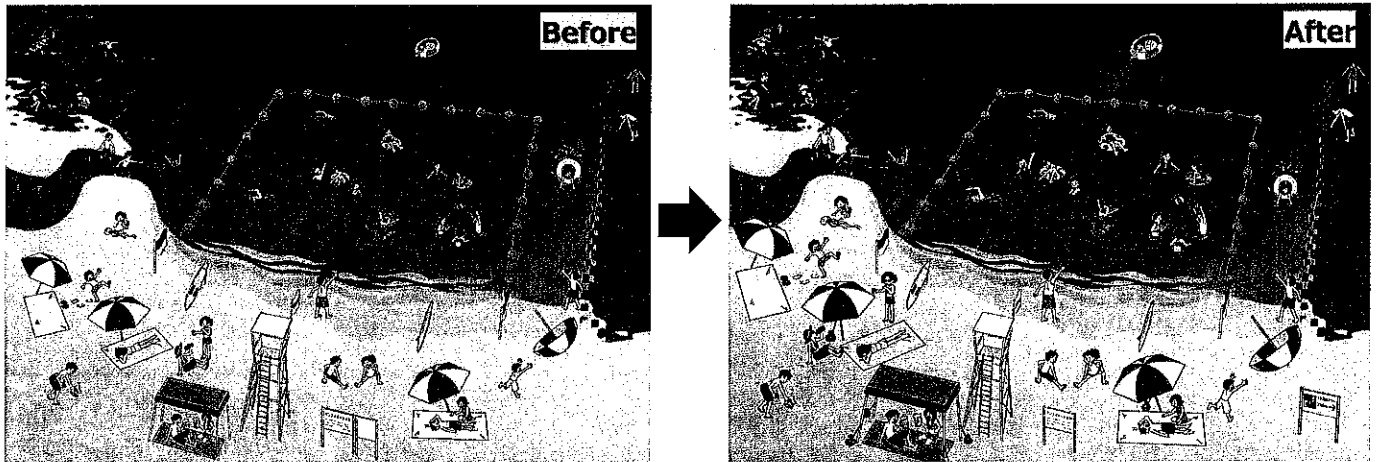
- a. Webサイトの各種データ最新化、英語翻訳ページ増設
- b. 直感的で視覚的に訴求力のある動画コンテンツ制作

事前学習「海編」のリニューアルを行った。2019年に制作した内容を基に、最新のデータへ更新したほか、イラストの再編集を実施。あわせて、遊泳エリアや遊泳条件、津波避難などに関する新しいコンテンツを追加し、より実際の海での安全行動に役立つ内容へとアップデートを行った。



事前学習「海編」リニューアル

- a. Webサイトの各種データ最新化、英語翻訳ページ増設
- b. 直感的で視覚的に訴求力のある動画コンテンツ制作



イラストの主な変更点

- ①人物をひと回り大きくし、表情が分かるよう工夫。
- ②より視覚的に分かりやすく表現するために、風を追加。
- ③世の中のライフジャケットの普及に合わせ、数名の人物にライフジャケットを装着。
- ④日差し対策、日焼け対策の人物をパラソル側に移動し、より分かりやすく変更。
- ⑤海での風対策を具体的にするために、パラソルやテントに土嚢の設置。
- ⑥看板の一つを右側に移動し、津波避難タワーへの誘導の看板を設置。

みんなで考えよう！「海のできごと」リニューアル

- a. Webサイトの各種データ最新化、英語翻訳ページ増設
- b. 直感的で視覚的に訴求力のある動画コンテンツ制作

2019年に制作した、みんなで考えよう！「海のできごと」の【学習のポイント】を、最新の情報やデータに基づき更新した。また、それに伴い【次に動画を見ながら考えよう！】の映像についてもリニューアルを実施した。「川のできごと」以降の動画と同様の構成に統一し、音声の追加に加えて関連動画の見直しも行った。

Before

After

①ナレーション収録を行い、音声を追加。

②イラストや写真を新たに追加し、学習内容がより視覚的に伝わるようリニューアル

③情報やデータを最新のものに更新

みんなで考えよう！「海でのできごと」リニューアル

Before

ライフジャケットは自分の身体にあったサイズのものを選び、チャックやとめ具をしっかりと装着します。

④キャラクターが分かりやすく解説

⑤「ライフジャケットの正しい着方」を最新の動画に変更

After

ライフジャケットを身につけるときの注意点を覚えてみましょう。

もし、ライフジャケットを正しく着ていなかったらどうなるのか覚えてみましょう。

ライフジャケットがすり抜けたらいざいざにん。

ライフジャケットを正しく着ることはとても大切なことです。

⑥関連する動画を入れより詳しくバージョンアップ

みんなで考えよう！「海でのできごと」指導者向け

みんなで考えよう！「海でのできごと」【指導者向け】ページについても、最新の情報やデータに基づき更新した。解説文を全面的に見直し、指導に生かせるよう内容を具体化するとともに、指導動画へのリンクを追加した。

Before

よく似た着方でも、着方を間違っていると、救命効果が期待できず、命を失う危険があります。

動画の男子は、おおむねの姿勢が覆われています。深き波を避けながら、呼吸しやすい姿勢を後ろ、深き波を避けることが大切です。

いざというときに備えて、ベスト、ボード、サーフなどの道具を使い、深く呼吸をしておきましょう。自己責任のため学習編を参考に観る観るでください。

After

ライフセーバーによる救助の年別データを見ると、20代前半と小・中学生に事故が多く発生しています。また、溺死事故は特に2層と1層で多く発生していることがわかります。海でトラブルが起きた際には、自分たちだけで対応しようとせず、速くライフセーバーに知らせることを伝えましょう。

海でのトラブルが起きた際には、自分たちだけで対応しようとせず、速くライフセーバーに知らせることを伝えましょう。

①指導に生かせるよう解説を具体的に表記

②授業での実践を意識し、「自己保全のための学習編」へのリンクを挿入

③情報やデータを最新のものに更新

④解説の変更に合わせて、関連する最新のデータも追加

みんなで考えよう！「離岸流ってなに？」リニューアル

みんなで考えよう！「海のでできごと」と同様、「離岸流ってなに？」の【学習のポイント】も、最新の情報やデータに基づき更新を行った。【次に動画を見ながら考えよう！】の映像についても、リニューアルを実施、音声の追加に加えて関連動画の見直しも行った。

- a. Webサイトの各種データ最新化、英語翻訳ページ増設
- b. 直感的で視覚的に訴求力のある動画コンテンツ制作

Before

①ナレーション収録を行い、音声を追加。

離岸流とは、岸に向かう流れのことで、海水浴場におけるおぼれ事故の原因の約半数をしめます。ライフセーバーはいち早く岸に向かう手段として、この離岸流を利用することがあります。

After

②情報やデータを最新のものに更新

離岸流は、岸から沖へ向かう流れです。海水浴場でおぼれる原因の約50%が離岸流によるものです。ライフセーバーは救助に向かう際、この流れを利用することがあります。

Before

風が強い日にはパラソルやテントが飛ばされるおそれがあります。まわりの人に当たってしまったら大変危険です。パラソルは風上に向けてやや傾し、砂の中に深くさし、風しを流して飛ばされないようにしましょう。

After

③新たな解説も追加。

みんなで考えよう！「離岸流ってなに？」リニューアル

- a. Webサイトの各種データ最新化、英語翻訳ページ増設
- b. 直感的で視覚的に訴求力のある動画コンテンツ制作

Before

④解説を細分化。より見やすく、分かりやすく。

安全に遊ぶために海に着いたらまず何をしたらよいか？

①事前検査やライフジャケットの正しい着用

②海へ入る前に泳ぐの履物など、自用となるものを決めておく

③その日の安全な場所や注意点などをあらかじめ知っておく

After

Before

⑤最新の動画や画像を追加し、視覚的に伝わりやすく。

1秒間に2メートル進んでしまうくらい強い流れもあります。これはオリンピックの泳水泳球でも流れにさらかって泳ぐにはわずかしい速さです。また、流れはるか外まで抜いているのではなく、あるところまで抜けていきます。その様子を真珠動画で見てみましょう。

After

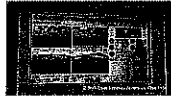
みんなで考えよう！「離岸流ってなに？」指導者向け

みんなで考えよう！「海のできごと」【指導者向け】ページについても、最新の情報やデータに基づき更新した。解説文を全面的に見直し、指導に生かせるよう内容を具体化するとともに、指導動画へのリンクを追加した。



Before

子どもたちは海に落ちたら、すぐに入水しようとします。海水浴場にあるインフォメーションボードには、一日の気象や潮流の情報、水深などが表示されています。またライフジャケットを着用することで、浮力の補助をはじめ、溺死や窒息のリスクを減らすことができます。適切な装備を準備することで、事故を防ぐことができます。

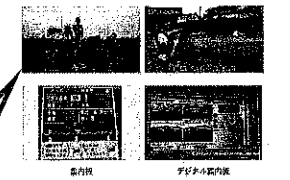


①指導に生かせるよう解説を具体的に表記

②解説の変更に合わせて、関連する画像や動画を追加

After

子どもたちは海に落ちるとすぐに入りますが、準備後や事前の情報を把握することが大切です。海水浴場のインフォメーションボードには、その日の気象・予報の時刻、水深、潮流など、安全に関わる重要な情報が表示されています。まずそれを一掃に確認する時間をつくりましょう。また、ライフジャケットを着用することで、その海洋の特徴や事故が起こりやすい場所、その理由まで具体的に知ることもできます。



Before

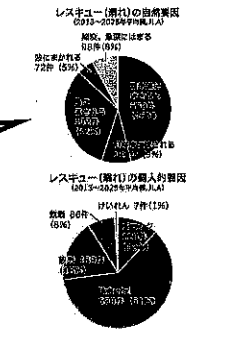
救助が必要な自然的原因では、「風速法」が最も多く、次いで「浪高法」が最も多く、人的原因では「体力不足」が最も多く、「疲労」「パニック」「飲酒」などが主な原因です。



③情報やデータを最新のものに更新

After

救助が必要な自然的原因では、「風速法」が最も多く、次いで「浪高法」が最も多く、人的原因では「体力不足」が最も多く、「疲労」「パニック」「飲酒」などが主な原因です。



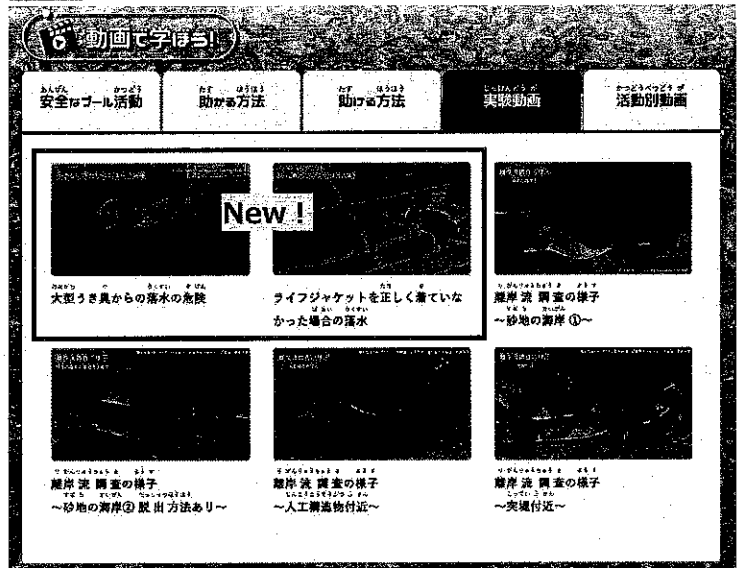
動画で学ぼう！「実験動画」

動画で学ぼう！「実験動画」のサムネイルを変更。一目でどんな動画なのか分かるよう変更した。

Before



After

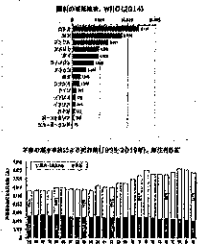


クイズ！水辺の安全って？ ウォーターセーフティ編

クイズ！水辺の安全って？「ウォーターセーフティ編」の一部変更を行った。最新の情報やデータへの更新したほか、解説に関連する動画を追加した。

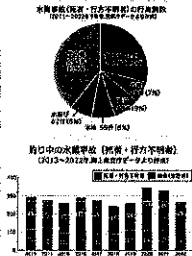
解説

世界中では、1年間になんと372,000人もの人が、おぼれて亡くなっています。これは約90秒間に一人がおぼれて亡くなっている計算となります。日本では、毎年約6人がプールで、約800人が河川などの自然水域で、約6,000人が浴室でおぼれ、その最も多いと、合計で約8,000人がおぼれて亡くなっています。日本は世界の数でもおぼれて亡くなる人が多い国なのです。



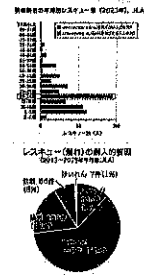
解説

「魚とり、つり」(218件、29%)、「通行」(67件、9%)など、水に入るつもりがないのに、あやまって入ってしまったときに、事故が多く起きています。魚とり、つりなどで水辺に行くときは、万が一に備えてライフジャケットを身に付けましょう。



解説

20代前半代である20~24才は、遊業が盛衰。水辺の知識や泳力の不足、遊業などが原因です。大人になっても水辺が危険なことに変わりはありません。等のうちから知識と技能をしっかりと身につけて、自分の命は自分で守れるようにしましょう。



解説

ライフジャケットを着るときは、バックルやベルトを正しく締めましょう。自分のサイズに合わせて正しく装着していることが重要です。



ライフジャケット着用時には、水上遊具のフロートやマットなどの下にもぐりこんではいけません。また激水遊泳によっては、不注意に水上遊具の下に入ってしまう可能性があります。注意しましょう。

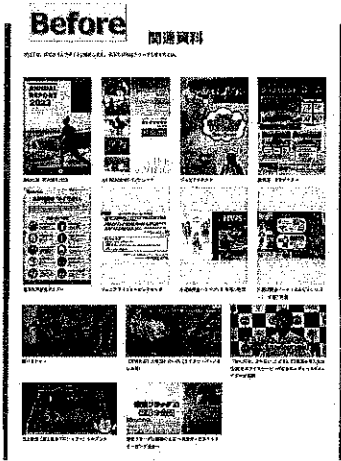


①情報やデータを最新のものに更新

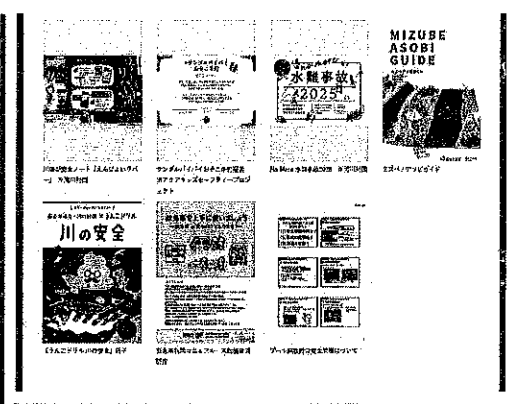
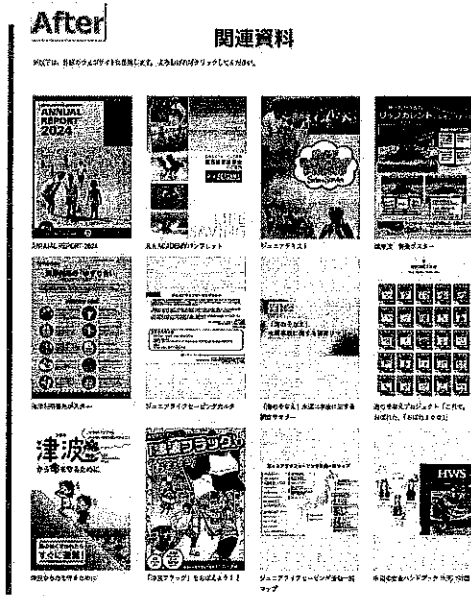
②新たに関連する動画を追加

資料集 関連資料

a. Webサイトの各種データ最新化、英語翻訳ページ増設
b. 直感的で視覚的に訴求力のある動画コンテンツ制作



①現行の「ANNUAL REPORT」、「No More 水難事故」を最新版に更新した。



②「『海のそなえ』水難事故に関するサマリー」や「これで溺れた『おぼれ100』」などの事故防止に関する最新情報に加え、「MIZUBE ASOBI GUIDE ミズベアソビガイド」などの水辺に関する資料を追加。さらに、津波避難に関する情報も掲載した。

資料集 関連動画

Before



After



a. Webサイトの各種データ最新化、英語翻訳ページ増設
b. 直感的で視覚的に訴求力のある動画コンテンツ制作

【水辺の事故を防ごう！】では、4本の水難事故防止について学べる最新動画を追加した。また、【海で遊ぶために】では、「飲んだら泳がない。」を最新版に更新、津波フラッグの動画を追加した。

資料集 関連動画

Before



After



a. Webサイトの各種データ最新化、英語翻訳ページ増設
b. 直感的で視覚的に訴求力のある動画コンテンツ制作

【ライフセービングを知ろう！】では、海とプールの大会の最新版ハイライト映像を追加し、スポーツを通じてライフセービングに興味をもてる選択肢を増やした。また、年度の切り替えに合わせ、「何かを始めたい人へ」をメッセージ性の強い映像を追加した。

e-Lifesaving メディアリリース

今回の大幅なリニューアルに向けて、PR TIMESでメディアリリースを行った。現時点での更新内容を分かりやすく解説するとともに、今後の更新予定についても記載し、今後の期待感につなげた。

新年度に向けて『e-Lifesaving (イーライフセービング)』、【資料集】の関連資料・関連動画を中心に新コンテンツ公開。生命(いのち)を守る教育で、水難事故予防へ。

無料のオンライン教材「e-Lifesaving」で、子どもから大人までウォーターセーフティを学び、水辺の安全を知識でそなえる。夏までに続々アップデート予定!

公益財団法人日本ライフセービング協会
2025年3月18日 12時10分



今回のアップデート

- 資料集関連資料**
【MIZUBE ASOBI GUIDE】「水難事故に関するカメラ」
「おそれ100」など、様々な水辺に関する資料を追加。
津波避難に関する情報を追加。
- 資料集関連動画**
最新の水難事故防止に関する動画4本を追加。
ライフセービング関係の動画などを追加。
- 水辺の事故防止の安全を学ぶ ウォーターセーフティ編**
解説、参考データを最新化。
- 動画収集は楽々! 実践動画**
サムネイルを分かりやすいものに変更。

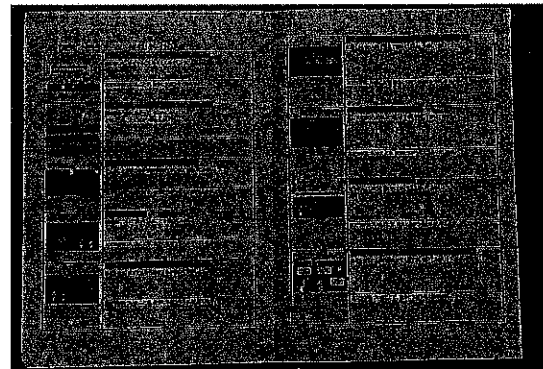
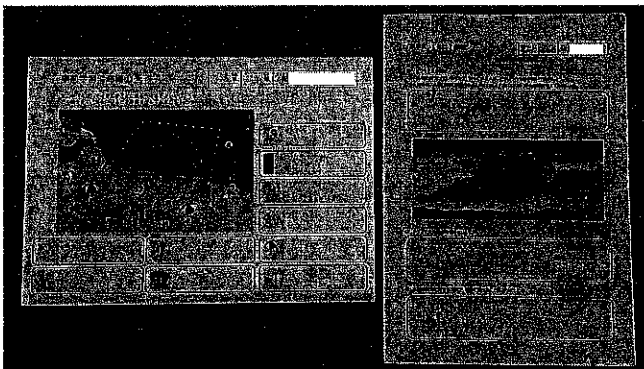
近日公開 -COMING SOON-

- 水難事故防止動画 (New content)**
日本の水難事故のデータをもとに、事故がいつ・どこで・誰が・どのような状況で起きているのかを整理し、水辺のリスクを客観的に理解。
- 事前学習【海編】 (New content)**
湖のイラストから20の特徴とリスクを学習。
- 事前学習【海編】 リニューアル**
新たに3つの学びを追加、イラストも大きく修正。
- 水辺の事故防止の安全を学ぶ「海のできごと」離岸流ってなに?!**
学習のポイント 最新の情報やデータでリニューアル。
解説動画も音声を入れ、大幅にリニューアル。

c. 小中学校の水泳授業・特別授業での実施と検証 ～ e-Lifesaving活用の実践 ～

2020年、e-Lifesavingの完成を契機に、地元中学校の教員に対して「水泳授業に水辺の安全(ウォーターセーフティ)教育を取り入れてはどうか。」という提案を行った。これを受け、当該校では早速授業への導入が進められた。当時は新型コロナウイルスの影響によりプールでの実技授業が実施できない状況であったが、e-Lifesavingを活用した座学中心の授業が展開された。

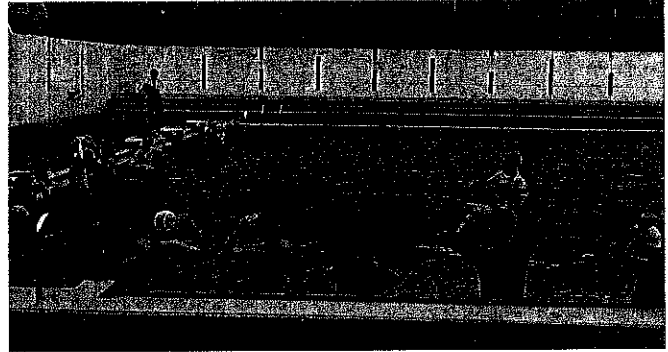
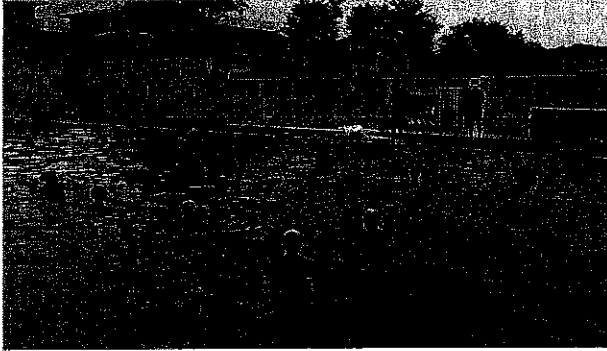
具体的には、【事前学習】のプール編・海編をはじめ、【みんなで考えよう!】海のできごと、離岸流ってなに?、【動画で学ぼう!】などのコンテンツを活用し、全学年において各学年1~2時間の授業が実施された。また、【資料集】に掲載されているワークシートを活用し、生徒自身が学びを振り返る機会を設けるとともに、プリントを持ち帰らせることで家庭への波及も意識した授業づくりが行われた。





c. 小中学校の水泳授業・特別授業での実施と検証 ～ e-Lifesaving活用の実践 ～

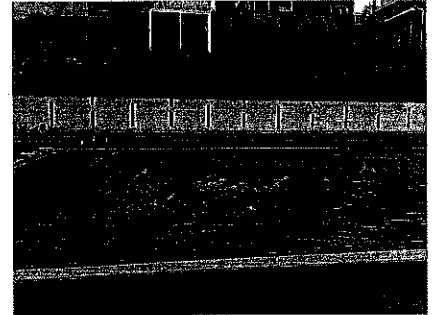
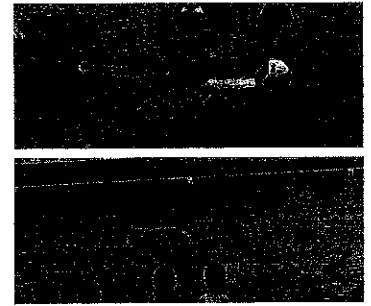
その後、2023年には「プールでの授業としてのウォーターセーフティ教育を実施できないか。」との依頼を受け、中学3年生の体育における選択授業として、ライフセーバーが直接指導する2時間の実技授業を実施した。本授業は2024年、2025年と継続して実施されており、2026年度も実施予定である。さらに、当該校での取り組みをきっかけに、異動した教員が赴任先の学校においてもウォーターセーフティ授業を導入するなど、実践は他校へも波及している。現在では横浜市内においても同様の取り組みを実施する学校が徐々に増えており、e-Lifesavingを活用したウォーターセーフティ教育の広がりが見られる。



c. 小中学校の水泳授業・特別授業での実施と検証 ～ e-Lifesaving活用の実践 ～

実施内容

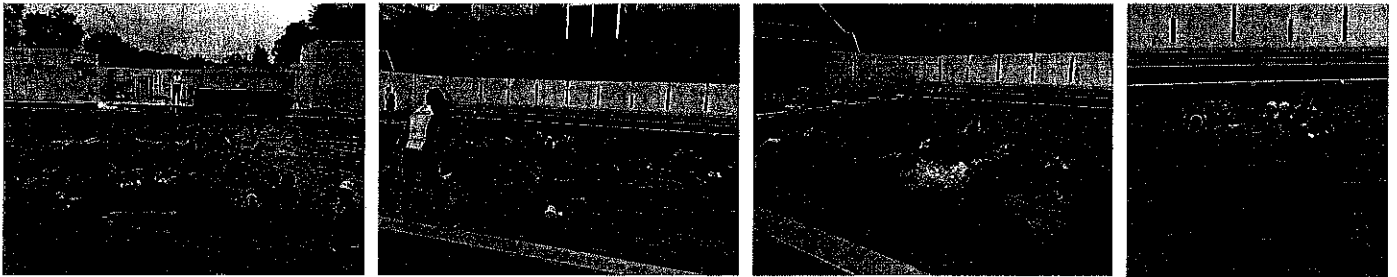
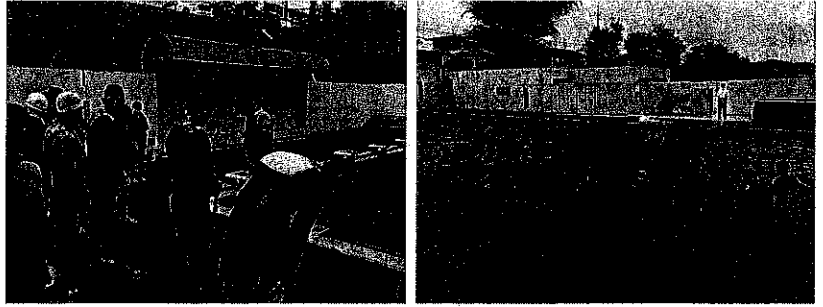
- ・スカーリングで浮く
- ・ビート板やペットボトルを使用して浮く
- ・ビート板クルージング
- ・ボディローテーション
- ・イカ泳ぎ (ライフセービングバックストローク)



c. 小中学校の水泳授業・特別授業での実施と検証 ～ e-Lifesaving活用の実践 ～

実施内容

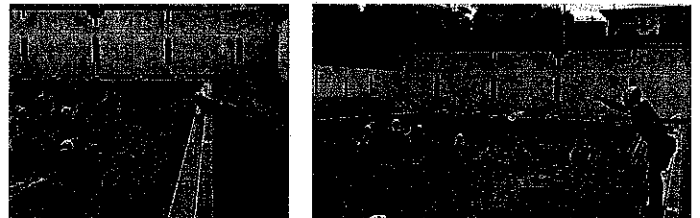
- ・正しいライフジャケットの着方
- ・ボディローテーション
- ・ヘルプテクニク、ヘルプシグナル
- ・ハドルポジション
- ・イカ泳ぎ (ライフセービングバックストローク)



c. 小中学校の水泳授業・特別授業での実施と検証 ～ e-Lifesaving活用の実践 ～

実施内容

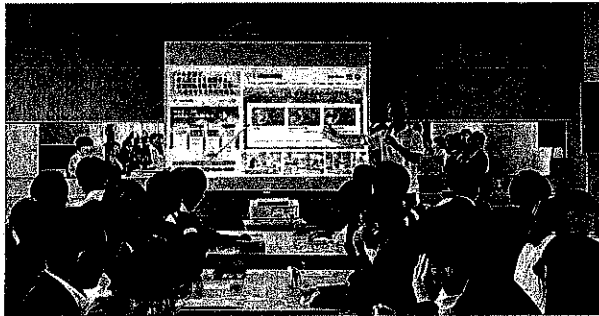
- ・落水体験
- ・落水からイカ泳ぎ (ライフセービングバックストローク)
- ・水に入らないで助ける方法
- ・トーク、リーチ、スロー体験



d. 指導者・教員・保護者を対象とした教育実践例を踏まえた研修内容の確立

～足立区教員対象『水泳事故防止研修会』～ 80名

テーマ：「一生を通じて、教え子が水辺の事故に遭わないように」



< 溺れるときに気をつけること(事故を防ぐ) >

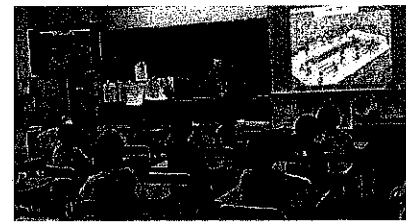
- ◎自転車やキックボードでも徒歩でも、飛び出しは絶対にダメ
- ◎歩道車でも道路を渡る前は周りをよく見て安全確認を
- 7月は夕方16時～18時の交通渋滞が多いそうです。交通ルールをしっかり守って移動しましょう。
- ◎水の事故に気をつけよう
- 海や川で遊ぶときは、天気の近くで遊ぶ。雨が降ったあとには川などに近づかない。
- ライフジャケット(救命胴衣)をつけるなど、気をつけて遊ぼう。
- ◎火の事故に気をつけよう
- 子どもだけで留守はしない、子どもだけでライターやチャッカマンに触らないなど
- !! 気をつけて遊ぼう。

< 参考資料 >

日本ライフセービング協会ホームページより、(e-Lifesaving)のページも紹介します。

防災や交通安全で、海やプールなど水辺で安全に遊ぶ方法を学ぶことができます。

興味のある人は見てみてください!



e-Lifesavingを必要な人に届けるためにも、ハブとなる人にコンテンツの質と運用を知ってもらう内容とした。

SNS投稿

e. SNSの定期的な投稿スケジュールの確立、新規ユーザー層へのリーチ拡大
f. 教育機関を意識した投稿や拡散等を組み合わせた波及効果の拡大

数値の振り返り

フォロワー数

	7月	8月
フォロワー数	5943	6251
増減数	+1453	+308
増加数	+1508	+434
減少数	-55	-126

投稿インサイト

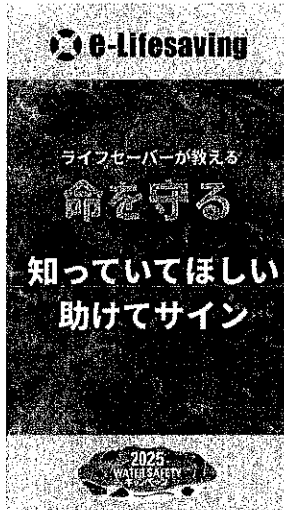
	7月	8月
リーチしたアカウント	647,107	389,828
外部リンクタップ数	114	59
プロフィールアクセス数	14,078	4,908
いいね数	9,990	4,908
保存数	2,019	731

- 大きく伸びた投稿により7月フォロワー大幅増加
e-Lifesaving用投稿の他にもバズり投稿があり、フォロワーが大幅に増加
→コンテンツを見てもらえるきっかけとなった
- 保存数から見えるコンテンツの質の高さ
あとで見返したいと思うような内容が
e-Lifesaving内に多いことがわかる
→コンテンツの有益さをしてもらうきっかけ
- 外部リンクへの誘導数
投稿自体のリーチは増えたが、
外部リンクタップ数の増加は横ばい
→e-Lifesavingサイト自体への誘導量不足

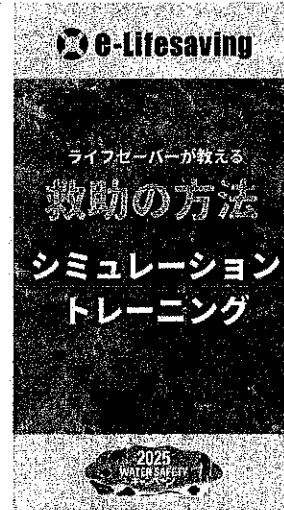
投稿の詳細分析 数値が良かった投稿（リール）

良かった投稿の共通点：

「すぐに役にたつ」「具体的でわかりやすい」



危険を知らせる投稿はやはり反応が強い。人は危険に対して本能的に注意を向けるため、スクロールしていてもつい見てしまう。今回の投稿は、ただ危険を伝えるだけでなく「そんなことがあるの？」と感じる意外性が含まれていたのがポイント。予想外の展開が続くことで、最後まで見届けたいという気持ちを刺激し、結果として視聴維持率が高くなったと考えられる。

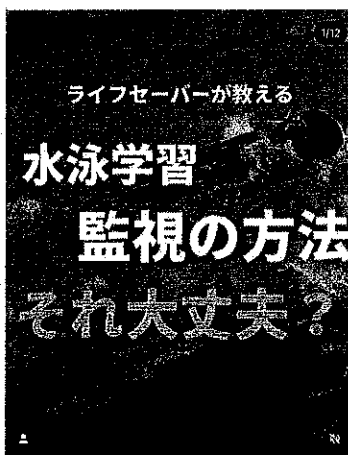


救助の方法を紹介した投稿は保存数が50と高く、平均30の他リールを大きく上回った。先生たちにとって実際に役立つ情報で、今すぐではなく「後で見返したい」と思える内容だったことが保存行動につながったと考えられる。保存数が多い投稿は外部へのリーチも伸びやすく、結果的により多くの人の目に届く好循環を生んでいた。

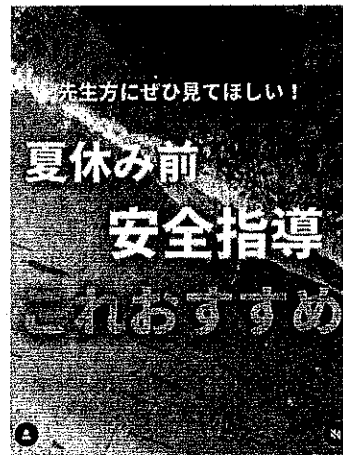
投稿の詳細分析 数値が良かった投稿（フィード）

良かった投稿の共通点：

「ニーズに合っている」「何度も見返したい」



監視方法を扱った投稿は、先生たちにとって絶対必要な視点だった。最近水泳の指導を外部のプロに任せることも増えており、だからこそ「監視の基本」を知っておく重要性が高まっている。さらにライフセーバーという監視のプロが発信しているという権威性が加わり、説得力が増した。その結果、後で見返したいと思う人が多く、保存数も増加したと考えられる。



夏休み前指導をテーマにした投稿は、必要な情報が一度でわかる網羅性が高評価につながった。季節的にもタイミングがぴったりで、先生たちが「この時期に知っておきたい」と感じる内容になっていたことが保存行動を後押ししたと考えられる。その結果、保存数が増え、より多くの先生に長く役立つ投稿になった。

投稿期間中の反応

体育に関する研究会でのシェア

この投稿、私の所属するUD学会の体育支部Instagramで、シェアさせていただきました！

投稿を見つけた先生からの連絡。他にも体育の先生からInstagramおよびe-Lifesavingサイト内コンテンツの質の高さについての感想もいただいた。

必要な人に届けるためにもハブとなる人にコンテンツの質をしてもらおう

投稿期間中の反応

夏休み前の安全指導としてお便りに記載される

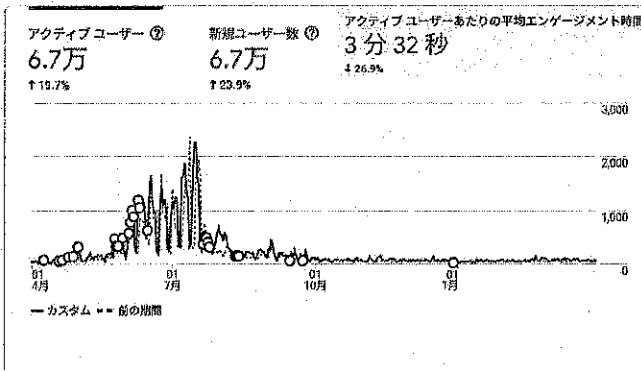


宝仙学園小学校が、夏休み前に配られるお便りの安全指導事項の中に水の事故に関する記事を記載。参考資料としてe-LifesavingサイトのQRコードも載せられていた。

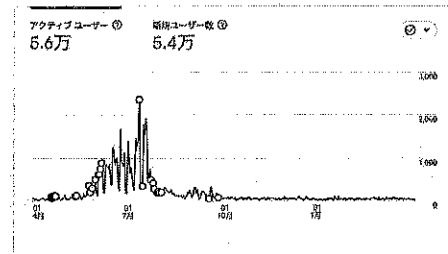
学校現場でサイトをどう使うかイメージしやすい提案を

2025年度におけるe-Lifesaving アクセス解析

アクティブユーザー比較 期間：2025年4月1日～2026年3月31日（比較：前年の同期間）



参考：2024年4月1日～2025年3月31日



1. アクティブユーザー数の推移

対象期間におけるアクティブユーザー数は約6.7万人となり、前年同期比で19.7%の増加が確認された。また、新規ユーザー数も6.7万人であり、前年同期比23.9%増と堅調な伸びを示している。反面、平均表示時間は26.9%減となり離脱するユーザーも多くなっている。

2. アクセス動向

アクセス数は6月初旬から上昇傾向を示し、7月中旬まで高水準を維持した。この傾向は、夏季シーズンにおける利用増加が要因であると推察される。

3. 平均表示時間

一方で、ユーザー1人あたりの平均表示時間は約26.9%減少しているが、滞在時間が3分32秒と比較的長く、ページは読覧されている事がわかる。



2025年度におけるe-Lifesaving アクセス解析

流入経路の分析 期間：2025年4月1日～2026年3月31日（比較：前年の同期間）

新規ユーザー数 ユーザーの最初のメインのチャ... ▼別			セッション数 セッションの参照元*別		
A ユーザーの最初のメインの...	新規ユーザー数		B セッションの参照元	セッション	
Direct	3.3万	↑13.1%	(direct)	5万	↑16.5%
Referral	2.1万	↑49.4%	kids.yahoo.co.jp	2万	↑101.2%
Organic Search	9,810	↑4.5%	google	1.4万	↑12.5%
Organic Social	1,890	↑9.3%	classroom.google.co...	4,699	↑20.4%
Paid Social	1,896	-	bing	2,543	↑18.9%
Organic Video	26	↑55.6%	gakkoyoiu.gakken...	1,310	↑36.2%
Unassigned	28	↑2,708.0%	yahoo	1,464	↑10.0%



A：ユーザーの最初のメインチャンネル

- ダイレクトのアクセスが3.3万で13.1%上昇、リファラー（外部リンク）などからのリンク経由が2.1万で49.4%上昇と大幅に増えた。別サイトやリンクの設置が多く行われ、アクセスされたと考えられる。
- YouTube、TIKTok、Vimeoなどの動画プラットフォームからの流入も数は少ないが、上昇率55.6%と動画コンテンツが閲覧されている事が分かる。

B：セッションの参照元

- ダイレクトが増えを占める。次いでYahoo!キッズ、Google検索、Googleクラスルーム、bing検索と続く。
- Yahooキッズは上昇率101.2%と高くなっている。

57

2025年度におけるe-Lifesaving アクセス解析

基本レポート 期間：2025年4月1日～2026年3月31日（比較：前年の同期間）

イベント数・イベント率別		アクティブユーザー・デバイス別		アクティブユーザー プラットフォーム/... 別		アクティブユーザー デバイスカテゴリー		
C イベント名	イベント数	D		E プラットフォーム/...	アクティブユーザー	F		
page_view	60万	↑0.6%	Chrome	web / desktop	6.2万	↑24.9%	DESKTOP	76.3%
user_engagement	55万	↑1.3%	Safari	web / mobile	1.4万	↑9.2%	MOBILE	21.0%
scroll	16万	↑11.8%	Edge	web / tablet	1,812	↑16.6%	TABLET	2.7%
session_start	10万	↑22.7%	Safari (IP-IP)	web / smart tv	0	↑100.0%		
first_click	6.7万	↑23.9%	Android					
file_download	5,815	↑4.5%	Windows					
click	4,799	↑18.9%	Firefox					
			Samsung					
			Internet					

C：イベント数

- page_view（ページ表示）：60万件（0.6%増）
- user_engagement（1秒以上の閲覧）：55万件（1.3%増）
- scroll（ページ90%到達）：16万件（11.8%増）
- page_viewとuser_engagementの件数が近いことから、ユーザーが大きく離脱せず閲覧を継続していることが示唆される。また、scrollが増加している点から、ページ下部までしっかりと読まれるケースが増えていると考えられる。



D：アクティブユーザー（ブラウザ）、E：アクティブユーザー（プラットフォーム）、F：アクティブユーザー（デバイスカテゴリー）

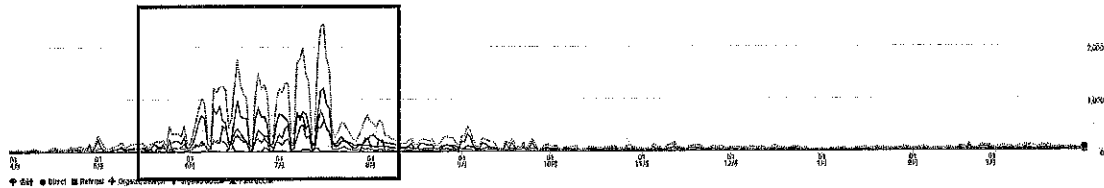
- 使用ブラウザはChrome、safari、edgeの順。教育機関での使用などのためかdesktopが24.9%の上昇で、76.3%がPC版ブラウザ。

58

2025年度におけるe-Lifesaving アクセス解析

ユーザー獲得の特徴

※ユーザー数の推移: ユーザーの属性のメインのチャネルグループ (デフォルト: チャネルグループ) 別



チャネル	新規ユーザー数	新規ユーザー率	リピーター数	アクティブユーザー数	エンゲージメント率	イベント数	ユーザーイベント数
合計	67,348	49.97%	15,620	52,728	0.95	1,484,748	0.00
1 Direct	32,156 (47.75%)	37.32% (48.81%)	7,371 (44.14%)	4分 04秒	0.95	760,798 (51.32%)	0.00 (-)
2 Referral	21,452 (31.84%)	21.26% (31.51%)	4,612 (21.21%)	2分 20秒	0.95	397,682 (26.81%)	0.00 (-)
3 Organic Search	9,984 (14.82%)	9.81% (14.58%)	3,088 (30.83%)	5分 24秒	1.17	210,824 (14.24%)	0.00 (-)
4 Paid Social	1,820 (2.71%)	1.99% (2.82%)	2 (0.01%)	1秒	0.04	6,216 (0.42%)	0.00 (-)
5 Organic Social	1,682 (2.50%)	1.65% (2.47%)	87 (0.52%)	1分 19秒	0.89	16,568 (1.11%)	0.00 (-)
6 Unassigned	20 (0.03%)	20 (0.03%)	5 (0.00%)	46秒	0.71	227 (0.01%)	0.00 (-)
7 Organic Video	20 (0.03%)	20 (0.04%)	6 (0.30%)	4分 28秒	1.04	718 (0.05%)	0.00 (-)

- ユーザー獲得は6月から7月中旬にかけて集中している。
- 流入経路としては、**ダイレクトアクセス**と**リファラー (外部リンク)** が大半を占めている。
- Google 検索からの流入の場合、**アクティブユーザーあたりの平均エンゲージメント時間 (閲覧時間)** が5分26秒と長く、ユーザーのニーズにあったページが表示されていると考えられる。



2025年度におけるe-Lifesaving アクセス解析

ランディングページ順位①

ランディングページ	クリック数	アクティブユーザー数	新規ユーザー数	セッションあたりの平均エンゲージメント時間
合計	103,893	67,201	67,294	2分 19秒
1 /	41,444 (40.10%)	32,345 (48.13%)	30,783 (45.75%)	3分 07秒
2 /videos/avev.html	13,003 (12.5%)	10,642 (15.84%)	9,814 (14.58%)	62秒
3 /notset	6,294 (6.1%)	3,995 (5.94%)	0 (0%)	1分 26秒
4 /pre-learning	5,307 (5.1%)	4,362 (6.4%)	3,602 (5.2%)	4分 44秒
5 /pre-learning/monitoring.html	3,089 (3.0%)	4,217 (6.2%)	3,071 (4.5%)	21秒

1位: トップページ

2位: 「助かる方法」動画一覧

3位: 「not set」※データ取得不可。動画を連続閲覧したり、ページ画面を非アクティブにするなど、30秒経過するとイベントが正しく取得できないケースがある。

4位: <事前学習> プール編、プールに入る前に。

5位: <事前学習> 監視の基本編。



2025年度におけるe-Lifesaving アクセス解析

ランディングページ順位②

順位	URL	2025年4月1日～2025年3月31日	2024年4月1日～2024年3月31日	2023年4月1日～2023年3月31日	変化率
6	/pre-learning/river-movie.html	5,842 (3.43%)	3,507 (4.47%)	2,331 (3.73%)	50.4%
7	/pre-learning/sea-movie.html	2,695 (2.61%)	2,285 (3.4%)	1,739 (2.57%)	1.3%
8	/quiz/01.html	2,478 (2.4%)	2,284 (3.35%)	2,148 (3.19%)	2.9%
9	/pre-learning/index.html	2,098 (2.03%)	1,468 (2.16%)	1,177 (1.75%)	3.9%
10	/pre-learning/psol/psol.html	2,078 (1.97%)	1,010 (1.5%)	877 (1.3%)	1.9%

6位：<事前学習>川編、教えて！川遊びリーダー。

7位：<事前学習>海編、教えて！ライフセーバー

8位：<クイズ>クイズ一覧表

9位：<事前学習>プール編、プールに入る前に…。

10位：<事前学習>プール編、水に入ったら…。



- ・「トップ」と「not set」を除いた8件中6件が<事前学習>。
- ・動画コンテンツもよく閲覧されている。

2025年度におけるe-Lifesaving アクセス解析

ランディングページセッションの参照元

順位	URL	セッション数	割合
1	/	23,718 (22.9%)	103.7%
2	/video/sea.html	11,456 (11.1%)	29.0%
3	/	6,236 (6.1%)	27.0%
4	/pre-learning/noon.html	4,334 (4.3%)	18.7%
5	/pre-learning/river-movie.html	3,943 (3.7%)	16.7%
6	/not-set	2,914 (2.8%)	12.5%
7	/pre-learning	2,784 (2.7%)	11.8%
8	/	2,421 (2.3%)	9.7%
9	/pre-learning/sea-movie.html	2,389 (2.3%)	9.6%
10	/	1,773 (1.7%)	7.3%
11	/pre-learning/index.html	1,722 (1.6%)	7.1%
12	/quiz/01.html	1,501 (1.4%)	6.0%

順位	URL	検索エンジン	セッション数	割合
13	/not-set	google	1,261 (1.3%)	5.3%
14	/pre-learning/psol/psol.html	direct	1,201 (1.2%)	4.9%
15	/	gekokyoiku.gakken.co.jp	998 (0.9%)	4.1%
16	/pre-learning	google	930 (0.9%)	3.8%
17	/video/sea.html	direct	869 (0.8%)	3.5%
18	/pre-learning/psol/psol.html	direct	852 (0.8%)	3.4%
19	/video	direct	841 (0.8%)	3.3%
20	/	bing	839 (0.8%)	3.3%
21	/video/noon.html	direct	817 (0.7%)	3.2%
22	/think	direct	778 (0.7%)	3.1%
23	/pre-learning/psol/psol.html	direct	748 (0.7%)	3.0%
24	/video	google	678 (0.6%)	2.7%
25	/pre-learning/sea.html	direct	616 (0.6%)	2.5%

- ・【赤枠】トップページ（ランディングページ1位）ダイレクト、Google検索、Googleクラスルーム、Instagram、学研学校教育ネット、bing検索が主な流入元となっている。
- ・【青枠】動画で学ぼう 助かる方法（ランディングページ2位）Yahoo!キッズ、ダイレクトが主な流入先になっている。Yahoo!キッズでは特集「川・海安全ガイド」ページ（<https://kids.yahoo.co.jp/bousai/mizube/>）にリンクがあり、そこから流入していると推測できる。
- ・【緑枠】ダイレクト流入サイトの殆どがダイレクトによる流入。アクセス時期が6月～7月に集中していることから、ブックマークされプールや海への注意喚起として教育機関などで利用されていると考えられる。

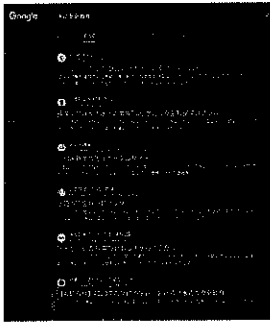


2025年度におけるe-Lifesaving アクセス解析

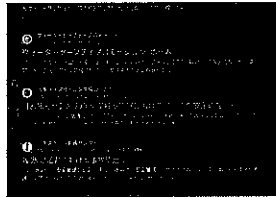
関連キーワード



- 流入キーワード水辺の安全において、Googleで「水辺」「安全」で検索すると4位でトップページがヒットする。
- それに加え関連キーワードとして候補をGoogle キーワードプランナーにて確認してみると「教育」や「管理」が有効との提案（左図）。これらのキーワードをコンテンツに盛り込む事により、ダイレクトリンク以外の自然検索からの流入強化が見込める想定。



- Googleで「水辺」「安全」に加え「教育」で検索すると、上位に下記関連ページが表示される
1位：e-Lifesavingトップページ
6位：Lifesaving Site 「【お知らせ】2020年の学校や家庭における「水辺の安全教育」と「事故防止」」ニュースページ（<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/news-info/20200601-5215/>）
5位：海と日本PROJECTの記事（<https://uminohi.jp/news/jla-lifesaving/>）



- Googleで「水辺」「安全」に加え「管理」で検索すると、9位にLSサイトのニュース「【お知らせ】2020年の学校や家庭における「水辺の安全教育」と「事故防止」」ニュースページ（<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/news-info/20200601-5215/>）がヒットする。



2025年度におけるe-Lifesaving アクセス解析

全体考察まとめ（2025年4月1日～2026年3月31日）

■主要項目 概要

アクティブユーザー	6.7万 (+19.7%)
新規ユーザー	6.7万 (+23.9%)
平均表示時間	3分32秒 (-26.9%)
イベント数	
page_view	60万 (+0.6%)
user_engagement	55万 (+1.3%) ※1秒以上閲覧などアクションを起こした回数
scroll	16万 (+11.8%) ※ページの90%までスクロールされた回数

■参照元

ダイレクト（ブックマークなど）	+13.1%
オーガニック検索	+4.8%
リファラー（外部リンク）	+49.4%
その他	
Yahoo!キッズ	+101.2%
Googleクラスルーム	-20.4%
X（旧Twitter）	-25.4%

■主要なトレンド（好調な点・不調な点）

- ユーザー数の大幅増と新規獲得の好調：アクティブユーザー数が前年比19.7%増（約6.7万人）、新規ユーザー数も23.9%増と、サイトの認知度が大きく向上している。
- 外部サイト（リファラル）流入の急増：Yahoo!キッズからの流入が101.2%増と倍増しており、教育関連の特集ページからの送客が強力なチャネルとなっている。
- エンゲージメントの質の変化：平均表示時間は26.9%減少したが、スクロール数（90%到達）は11.8%増加しており、必要な情報を短時間で効率よく読み取るユーザーが増えている。

■数値の増減に対する考察

- 季節性の影響と教育現場での活用：6月から7月中旬にアクセスが集中し、かつダイレクト流入やPC利用（77%）が多いことから、夏季シーズン前の学校教育現場で「水辺の安全」教材として定着している。
- コンテンツの親和性：表示回数上位を「クイズ」や「事前学習」が占めており、インタラクティブな要素がユーザーの能動的な学習意欲を引き出している。
- SNS流入の課題：X（旧Twitter）からの流入が25.4%減少しており、既存の教育機関ルート以外での新規層（一般家庭など）へのリーチが弱まっている可能性がある。



2025年度におけるe-Lifesaving アクセス解析

改善施策案

■ 具体的なアクションプラン

1. 検索流入 (SEO) の強化とメタ情報の最適化:

- ・ 現状、各ページ固有のDescription設定が不足しているため、「プール安全」「水辺教育」などのキーワードを盛り込んだ設定を行い、検索結果でのクリック率を高める。
- ・ 優先度: 高 / 期待効果: 広告に頼らない安定的な新規ユーザーの獲得。

2. SNS (X/Instagram) 運用と動画活用の再定義:

- ・ アクセスが集中する6月~7月に合わせ、反応の良い動画コンテンツ (浮く方法など) を短尺化して投稿し、SNSからの流入経路を再構築する。
- ・ 優先度: 中 / 期待効果: 減少傾向にあるSNS流入のV字回復と、若年層・保護者層への認知拡大。

3. サイト内回遊の導線設計と離脱防止策:

- ・ 「クイズ」終了後に「関連する事前学習ページ」へ誘導するボタンを設置するなど、グローバルナビに類らないページ間連携を強化する。
- ・ 優先度: 高 / 期待効果: 1ユーザーあたりの閲覧ページ数増と、学習内容の網羅的な理解促進。



65

2025年度におけるe-Lifesaving アクセス解析

改善施策案

■ 具体的なアクションプラン

4. オフシーズンへの取り組み:

- ・ 通年で使える「救急・防災」コンテンツへの拡張
冬の「着衣泳」と冬服の重さ体験動画やBLS (一次救命処置) の徹底解説、津波や洪水など、水害に対する知識を「防災学習」の文脈で整理。9月の防災の日や3月の震災時期に合わせた特集ページなど作成。
- ・ 教育機関への「授業準備・振り返り」アプローチ
学校の先生がオフシーズンに「次のシーズンの準備」や「冬の保健体育」で使えるリソースを提供
- ・ レジャー・スポーツの多様化への対応
冬の釣り、アウトドア、インドアプールでの安全ガイドの提供

戦略的なポイント

- ・ SEOの強化:
「水難事故 防止」だけでなく、「保健体育 指導案」「AED 使い方」「冬 釣り 安全」などのキーワードで検索流入を狙う。
- ・ SNSとの連動:
オフシーズンこそ、JLAの公式SNSから「今だからこそ学び直そう」というメッセージを定期的に発信し、サイトへ誘導するのが効果的

オフシーズンを「次の夏のための準備期間」や「日常の安全を固める期間」として位置づけることで、通年でのアクセス維持が期待できる



66

3. 指導員養成講習及びサポーター講習

※事業内容 3に関連

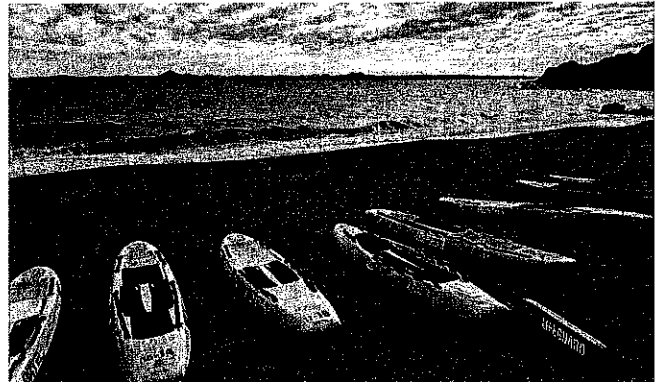
3-① 各種指導員養成講習会の開催・実施

(1) 時期：2025年4月～2026年3月

(2) 場所：東京、茨城、神奈川、静岡、大阪、広島、福岡、佐賀、沖縄

(3) 受講者 108(128)名、内合格者 87(89)名 ※()内の数字は2024年度実績

- BLS指導員養成講習会 48(27)名
- ウォーターセーフティ指導員養成講習会 27(32)名
- サーフライフセービング指導員養成講習会 10(22)名
- ジュニアライフセービング指導員養成講習会 2(3)名
- ☆合計 87(89)名



(4) 内容：

- a. 学科（JLA指導員とは、指導法）
- b. 実技（学科指導、実技指導、デモンストレーション）
- c. 学科および実技試験
- d. 面接試験

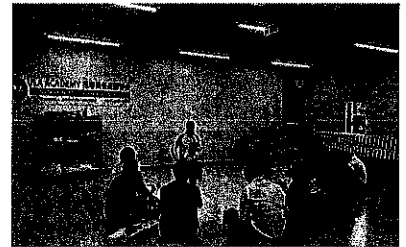
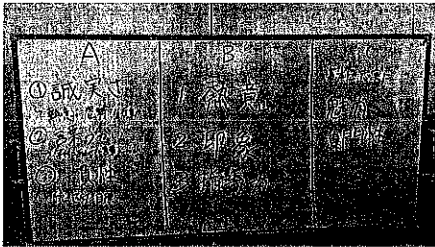
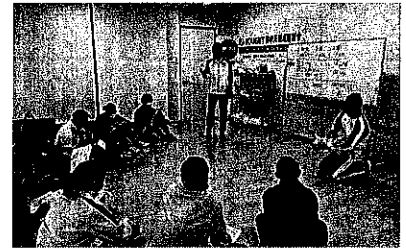
3-① 各種指導員養成講習会の開催実績

【BLS指導員養成講習会】

	日程	時間	会場	受講者	合格者
2025年	11月8、9、15、16日	9：00～17：00	流通経済大学 龍ヶ崎キャンパス (茨城県龍ヶ崎市)	14	13
2025年	11月15、16、29、30日	9：00～17：00	de AUNE さっぽろ/かでの2・7 (北海道札幌市)	4	2
2025年	12月6、7、13、14日	9：00～17：00	東京医薬看護専門学校 (東京都江戸川区)	9	6
2025年	12月13、14、20、21日	9：00～17：00	下関市生涯学習プラザ (山口県下関市)	5	4
2026年	1月24、25、31、2月1日	9：00～17：00	大阪ハイテクノロジー専門学校 (大阪府大阪市淀川区)	9	7
2026年	1月30、31、2月1、2日	9：00～17：00	宜野湾マリンセンターまりりん (沖縄県中頭郡)	12	9
2026年	3月14、15、21、22日	9：00～17：00	静岡市民活動センター (静岡県静岡市)	7	7
合計				60	48

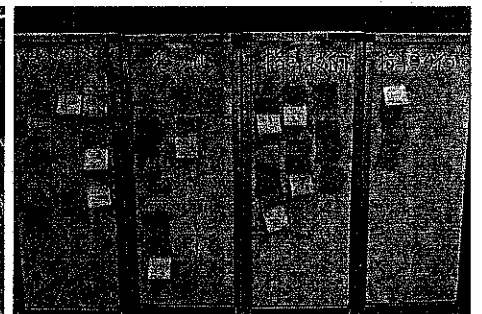
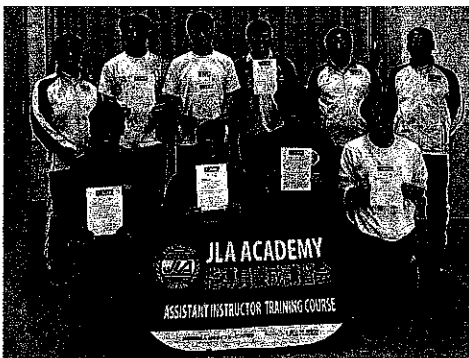
3-① 各種指導員養成講習会の開催実績

【BLS指導員養成講習会の様子】



3-① 各種指導員養成講習会の開催実績

【BLS指導員養成講習会の様子】



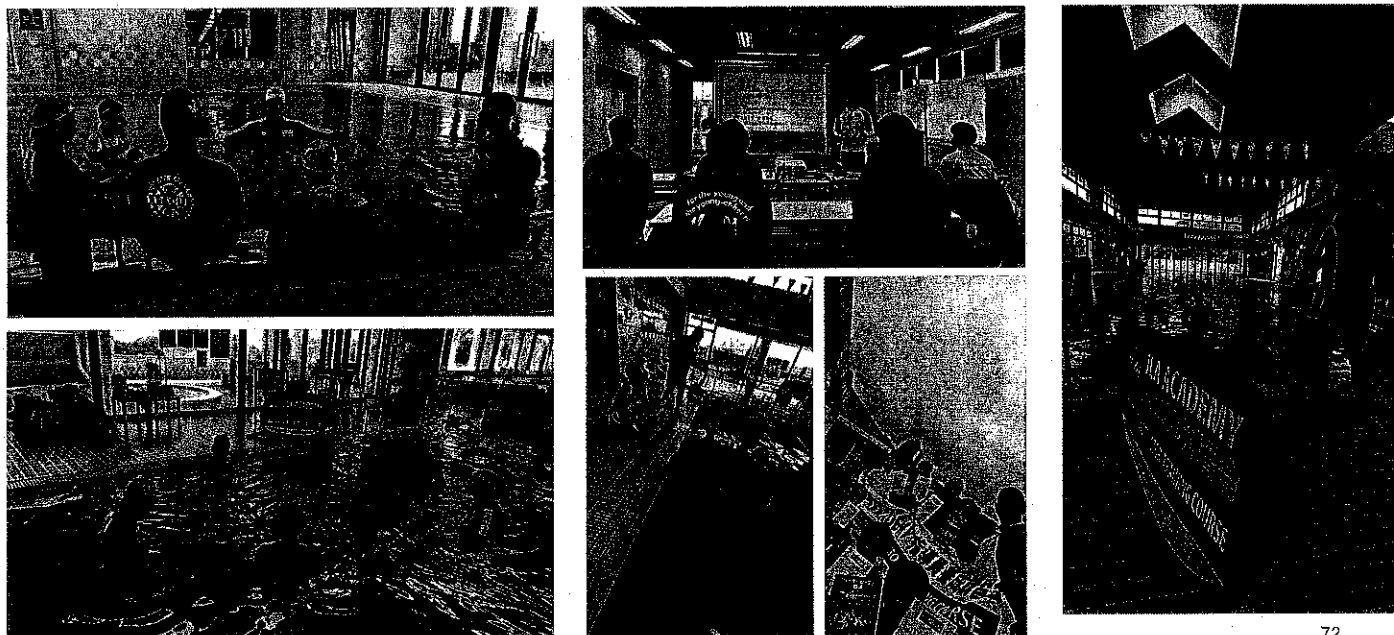
3-① 各種指導員養成講習会の開催実績

【ウォーターセーフティ指導員養成講習会】

	日程	時間	会場	受講者	合格者
2025年	12月6、7日	9:00~17:00	流通経済大学 (茨城県龍ケ崎市)	8	7
2026年	1月17、18日	9:00~17:00	アクアブルー多摩 (東京都多摩市)	6	6
2026年	2月22、23日	9:00~17:00	スポーツクラブビッグラン (広島県福山市)	3	3
2026年	2月26、27日	9:00~18:00	タピックタラソセンター宜野座 (沖縄県国頭郡)	6	5
2026年	2月28、3月1日	9:00~17:00	インフロニア 草津アクアティクスセンター (滋賀県草津市)	8	6
合計				31	27

3-① 各種指導員養成講習会の開催実績

【ウォーターセーフティ指導員養成講習会の様子】



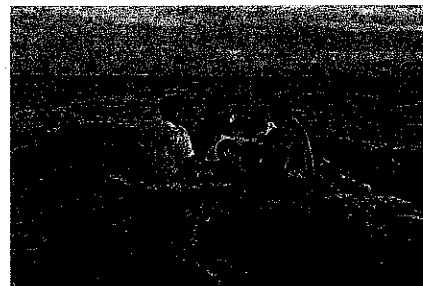
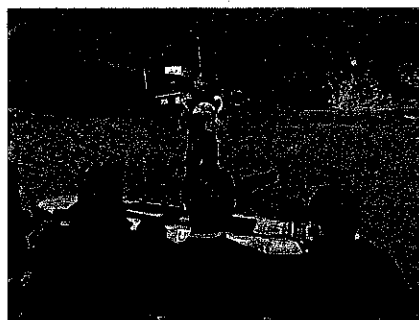
3-① 各種指導員養成講習会の開催実績

【サーフライフセービング指導員養成講習会】

	日程	時間	会場	受講者	合格者
2025年	4月19、20、26、27日	9:00~17:00	相良海岸/相良ライフセービングハウス (静岡県牧之原市)	6	2
2024年	11月22、23、29、30日	9:00~17:00	三浦市大浦海岸/三浦勤労市民センター (神奈川県三浦市)	8	8
合計				14	10

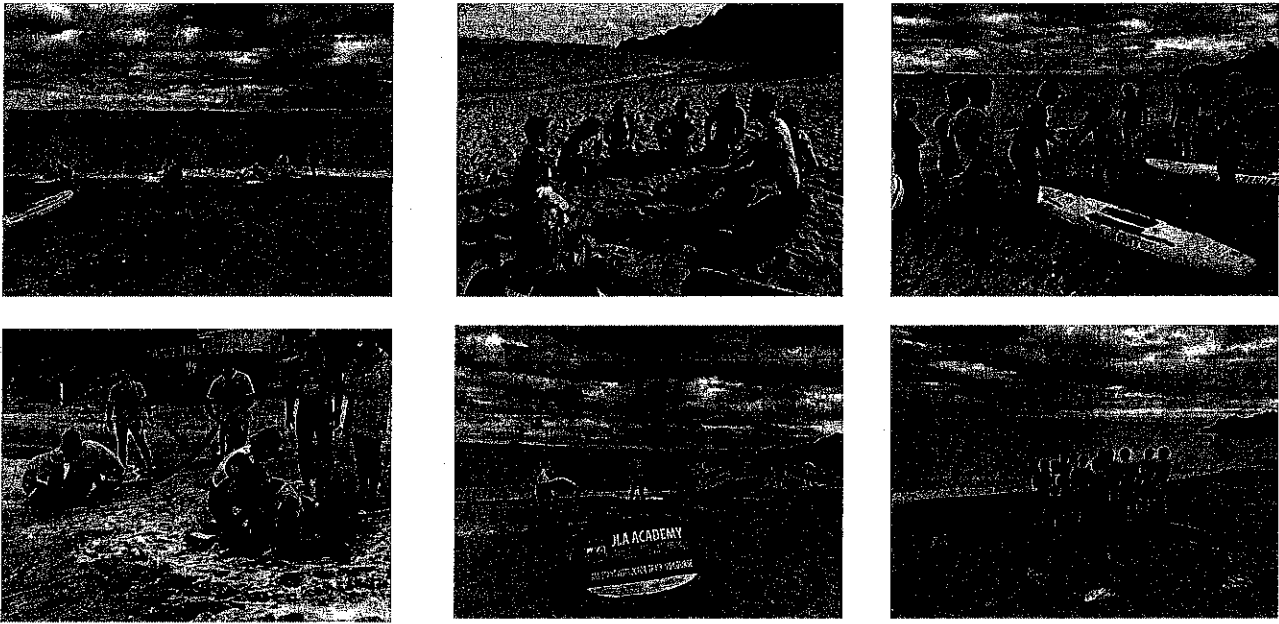
3-① 各種指導員養成講習会の開催実績

《サーフライフセービング指導員養成講習会の様子》



3-① 各種指導員養成講習会の開催実績

【サーフライフセービング指導員養成講習会の様子】



75

3-① 各種指導員養成講習会の開催実績

【プールライフガード指導員養成講習会】

	日程	時間	会場	受講者	合格者
2026年	1月11、17、18日	9:00~17:00	オンライン(学科)/アクアブルー多摩 (東京都多摩市)	申込み無し	
			合計	0	

【IRB指導員養成講習会】

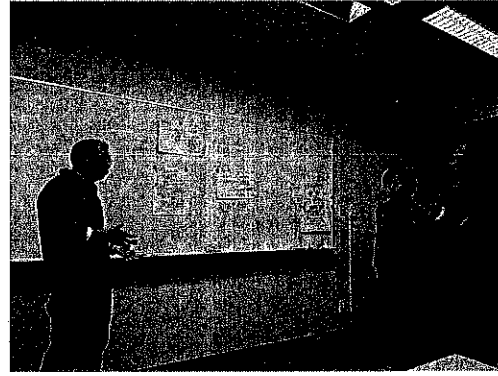
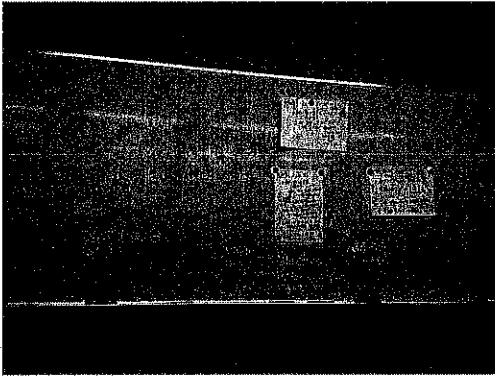
	日程	時間	会場	受講者	合格者
2026年	3月28、29日	9:00~17:00	相良海岸/相良ライフセービングハウス (静岡県牧之原市)	申込み無し	
			合計	0	

76

3-① 各種指導員養成講習会の開催実績

【ジュニアライフセービング指導員養成講習会】

	日程	時間	会場	受講者	合格者
2025年	4月12、13日	9:00~17:00	スポーツクラブビッグラン (広島県福山市)	申し込み無し	
2026年	3月21、22日	9:00~17:00	慶応義塾大学 日吉キャンパス (神奈川県横浜市)	3	2
合計				3	2



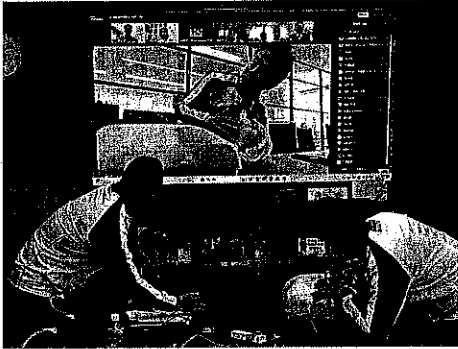
3-② 各種指導員養成講習会の開催実績

【指導員更新講習会】

	日程	時間	会場	合格者
2026年	1月29日(木)	13:30-16:30	宜野湾マリン支援センター (沖縄県中頭郡)	25
2026年	2月7日(土)	13:30-16:30	もち文化センター (福岡県福岡市)	16
2026年	2月21日(土)	13:15-16:15	東京アクアティクスセンター (東京都江東区)	32
2026年	2月22日(日)	9:00-12:00	東京アクアティクスセンター (東京都江東区)	9
2026年	3月1日(日)	9:00-12:00	アクアパーク柏崎(新潟県柏崎市)	14
2026年	3月8日(日)	13:00-16:00	iランドん西大路駅前八条 (京都府京都市)	8
2026年	3月4日(水)	18:30-21:30	オンライン	38
2026年	3月9日(月)	18:30-21:30	オンライン	37
2026年	3月18日(水)	14:00-17:00	オンライン	42
2026年	3月20日(金祝)	9:00-12:00	オンライン	38
2026年	3月25日(水)	18:30-21:30	オンライン	42
2026年	3月28日(土)	9:00-12:00	オンライン	36
2026年	3月28日(土)	14:00-17:00	オンライン	21
2026年	3月29日(日)	9:00-12:00	オンライン	26
2026年	3月29日(日)	14:00-17:00	オンライン	20
2026年	3月30日(月)	14:00-17:00	オンライン	26
合計				430

3-② 各種指導員養成講習会の開催実績

【指導員更新講習会の様子】



79

3. 指導員養成及びサポーター講習 ※事業内容3に関連

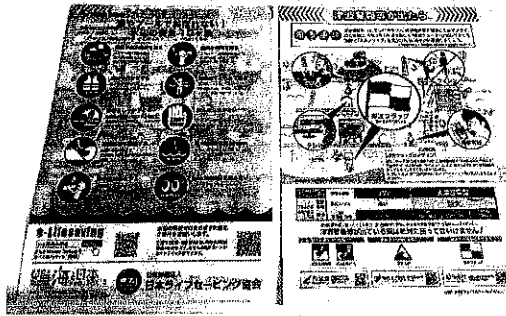
3-③ ライフセービングサポーター講習会の開催・実施

- (1) 時期：2025年4月～2026年3月
- (2) 場所：教育機関施設（体育館・プール）、民間プール、海浜等
- (3) 参加者：20,060名（小中高校生、教職員、社会人）
- (4) 内容：
 - a. 心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置法（CPR、AED）
134か所、6,507名
 - b. ウォーターセーフティ
146か所 13,553名

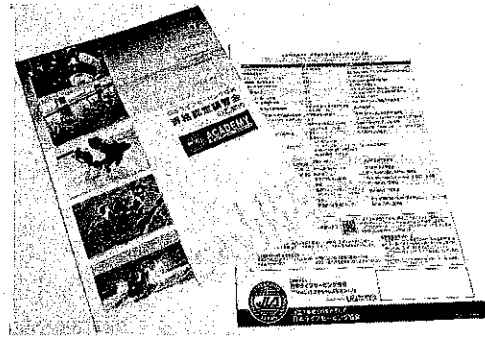


80

3-③ ライフセービングサポーター講習会の開催・実施



A4クリアファイル



講習会パンフレット

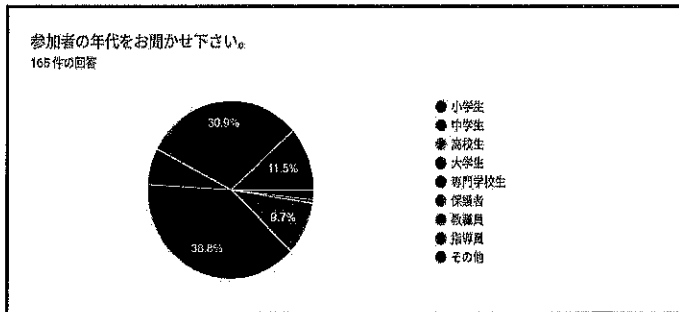


ジュニアライフセービングテキストブック

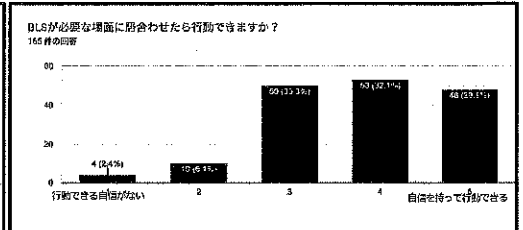
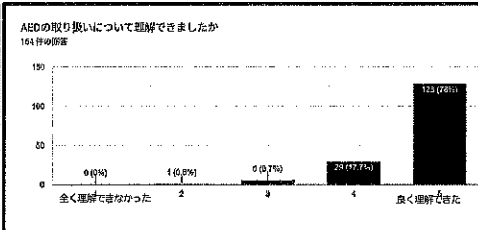
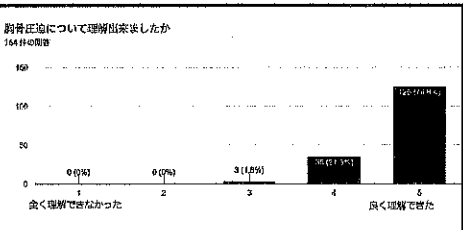
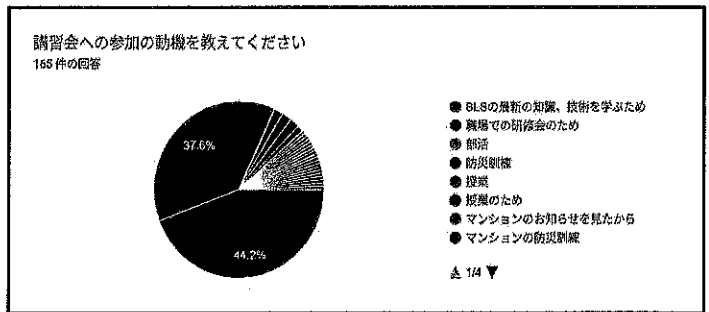
3-④ 教育本部直轄ライフセービングサポーター講習会の開催・実施 (BLS)

2025年度参加者166名への事後アンケートより

・参加者は専門学校生が最多



・BLSの最新の知識習得が動機の最多



【まとめ】

- ・AEDの実技を初めて体験して有意義であった
- ・死戦期呼吸の動画がイメージしやすかった。
- ・何度も技術習得まで講習会に参加しようと感じた。

【今後の課題】

- ・ライフセービングサポーター講習会からJLAの資格取得に発展する仕掛けを構築する必要がある

